CORONA

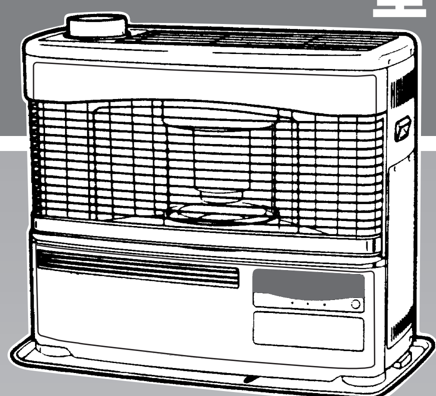
コロナ半密閉式石油ストーブ

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

正しく使って上手に節約

型式 SV-7012PK（エスブイ ピーケー） SVタイプ 煙突式輻射
UH-7712PK（ユーエイチ ピーケー） UHタイプ 煙突式輻射＋床暖



もくじ

このたびは、コロナ石油ストーブをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。




株式会社コロナ

1. 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただきあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

 	このマークは、「注意」していただく内容です。
    	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
 	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

警告（WARNING）

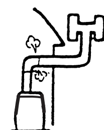
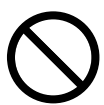
●ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
少量の混入でも火災の原因になります。



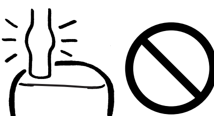
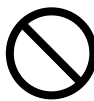
●煙突外れ危険

煙突が外れたまま使用しないでください。外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

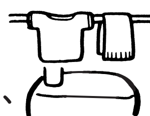
●煙突閉そく危険

煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

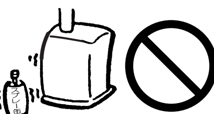
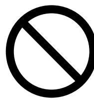
●衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。衣類が乾燥すると、ストーブの熱気でゆれて落下して火がつき、火災の原因になります。




●スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどをストーブの上や前に（周囲に）放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。

●低温やけどに注意（UHタイプ）

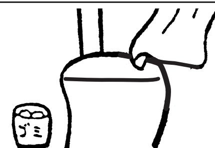
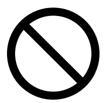
長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。
比較的低い温度（40～60℃）でも低温やけどや脱水症状の原因となります。




注意（CAUTION）

●カーテン、寝具など可燃物近接禁止

カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどで使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

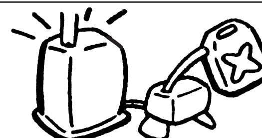
●可燃物との距離を離す

可燃物との離隔距離については、標準据付け例（29ページ）を参照してください。



●給油時消火

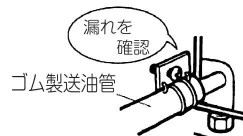
火災のおそれがありますので、給油は、必ず消火し、火の気のないところで行ってください。




⚠注意（CAUTION）

●油漏れ確認

油タンク・ゴム製送油管・接合部・給油コックおよびストーブなどからの灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。





●異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、炎の色など異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。





●高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部（枠上部、前面ガードなど）、煙突に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。

●小さいお子様のいるご家庭では、特に注意してください。



●やかんのせ禁止

やかんなどをのせないでください。
振動や接触によってやかんの熱湯がこぼれ、やけどのおそれがあります。





●指や異物を入れない

ストーブの内部に指や可燃物・針金などの異物を入れないでください。けがや火災の原因になります。



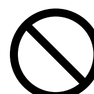
●分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。
不完全な修理は、危険です。



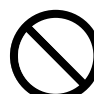
●腰をかけたり物をのせない

ストーブの上にのったり、腰をかけたりしないでください。ストーブの故障や、やけどのおそれがあります。
ストーブの上に花びんや水を入れたものなどを置かないでください。水がかかると漏電や故障のおそれがあります。



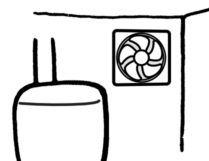
●改造使用の禁止

改造して使用しないでください。また、ストーブや煙突には床暖房用の熱交換器などを取り付けないでください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。



●換気扇使用禁止

ストーブを使用している同室内で換気扇を使用しないでください。
立消えして爆発燃焼するおそれがあります。
また、換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがないでください。

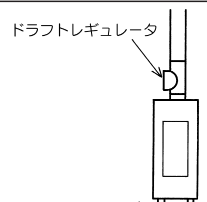




●ドラフトレギュレータの取り付け

煙突の引き（ドラフト）が強いと燃焼不良が発生します。次の煙突設置の場合は必ずダブルドラフトレギュレータ（別売品DR-1）を取り付けてください。

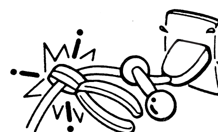
- 集合煙突に接続する場合
- 標準寸法以上に立ち上がりが高い場合
- 風が強くて炎が沈むような場合

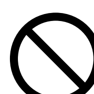




●電源コードを傷めない

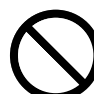
電源コードに無理な力を加えたり、傷付けたり束ねたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。





●電源の接続

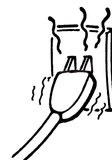
電源は適正配線された単相100Vのコンセント以外は使用しないでください。発熱・発火の原因になります。電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。発熱・発火の原因になります。



⚠注意（CAUTION）

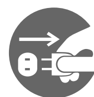
●電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。ぬれた手での抜き差しはしないでください。感電の原因になります。




●長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときまたは保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や予想しない事故の原因なります。



●電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりおよび金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



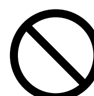
●灯油の保管

灯油は、火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。
誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。



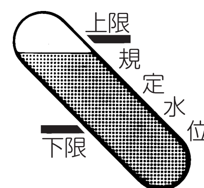
●不良灯油使用禁止

変質灯油（持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など）などの不良灯油を使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。



●シスターンの水位に注意（UHタイプ）

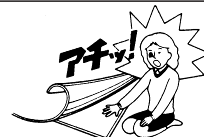
循環液は少しずつ蒸発します。
1ヶ月に１回程度は、シスターンタンクの水位が規定水位にあることを確認し、不足している場合は補充液を補給してください。
上限水位以上は、入れないよう注意してください。





●カーペットのはがれに注意（UHタイプ）

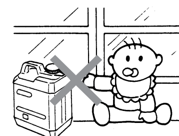
カーペットがずれたり、めくれたまま使用しないでください。
床パネルに直接触れるとやけどのおそれがあります。





●循環液（循環水・不凍液）の保管に注意（UHタイプ）

幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、飲んだ場合には吐かせて、医師の診断を受けてください。




●初めてお使いになるときの注意

初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙と臭いが出ます。
しばらくの間、窓をあけて部屋の換気を行ってください。
また、小鳥や小動物などに影響する場合が考えられますので、この間は部屋に入れないでください。



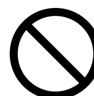
●外出する時は消火

外出のときは、必ず運転を停止し消火してください。



●特殊用途には使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や、動植物の飼育・栽培などには使用しないでください。



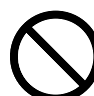
●定期点検の実施

定期的（2年に1回程度）に点検・整備を受けてください。
点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。点検・整備はお買い求めの販売店や資格者のいる店に依頼してください。




●ご自身での据付け・移設工事の厳禁

お客さまご自身による工事は危険です。
据付け工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
（ストーブを移設させる場合も同じです。）




1.特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

お願い（NOTICE）

●機器を廃棄するときの注意
ストーブを廃棄処分するときは、定油面器の灯油を抜きとってください。
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。
必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

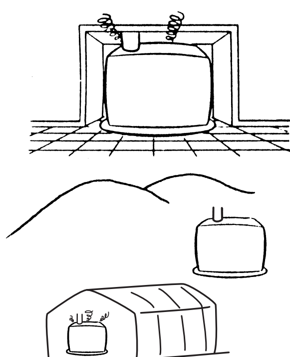
●灯油の廃棄
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

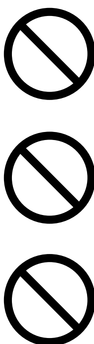
●シリコン配合製品を使用しない
ストーブを使用する部屋および隣接する部屋では、シリコン配合の製品を使用しないでください。
使用するとストーブの燃焼部にシリコンが付着し、点火不良や途中消火などの原因になります。
（シリコン配合の製品にはヘアケア製品、化粧品類、保湿用クリーム、衣類の防水剤・柔軟剤・家具などのつや出し剤などがあります。）

2.使用する場所

ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

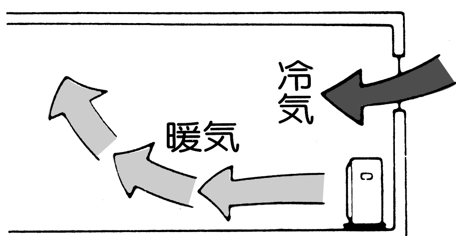
安全に使用するために





●マントルピースなどには据付けないでください。
ストーブが故障したり、火災の原因になります。
●標高が 1000 mを超える高地では使用しないでください。
（空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。）
●クリーニング店、美容院などの化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により、異常燃焼や故障の原因になります。
●温室、飼育室など、動植物の育成栽培に使用しないでください。
●燃焼に必要な空気を取り入れる空気取り入れ口のない場所または換気の行えない場所。
●水平でない場所、不安定な場所では使用しないでください。
●不安定な物をのせた棚などの下には使用しないでください。
●可燃性ガスの発生する場合またはたまる場所には使用しないでください。
●階段、避難口などの付近で避難に支障となる場所には使用しないでください。

効果的に使用するために



●外気に接する窓の下や壁面になどに置くと、冷気がストーブで暖められて対流しますので、効果的です。

出入口など人の通るところは、ぶつかると危険ですので避けてください。

●熱に弱いカーペットや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。熱に強いマットなどを敷いてください。

●部屋の保温を工夫し、部屋の温度の調節を心がけましょう。

ストーブの前面に障害物があると、部屋の温度にむらができるばかりでなく、ふく射熱によってストーブ本体の温度が上昇して危険です。
使用場所には十分注意して効果的に使用してください。

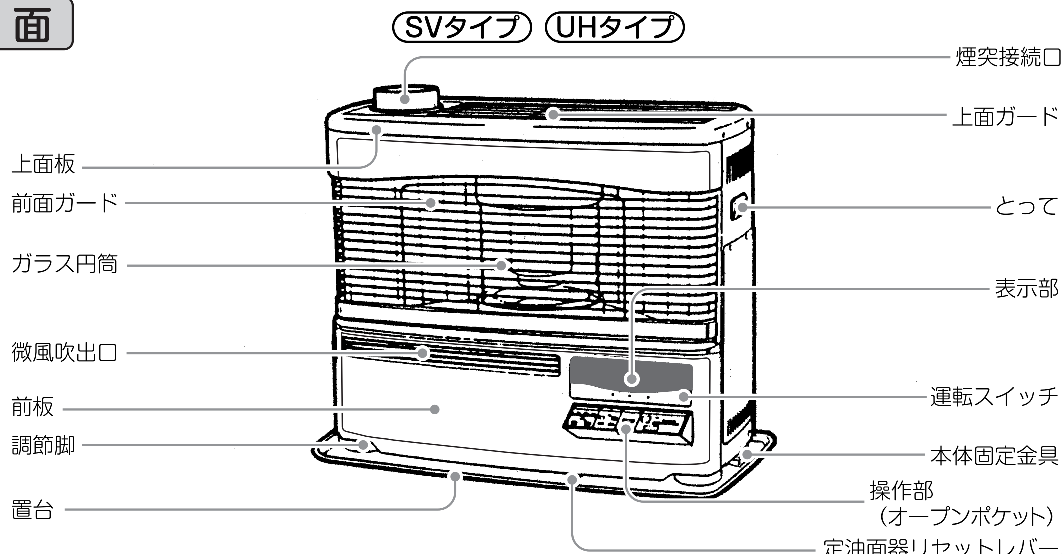
（UHタイプ）
●ストーブ前面からふく射熱がでますので、床暖パネルとの距離を考慮してください。
●温水配管の長さができるだけ短くなるような位置にストーブを配置してください。

3.各部の名称

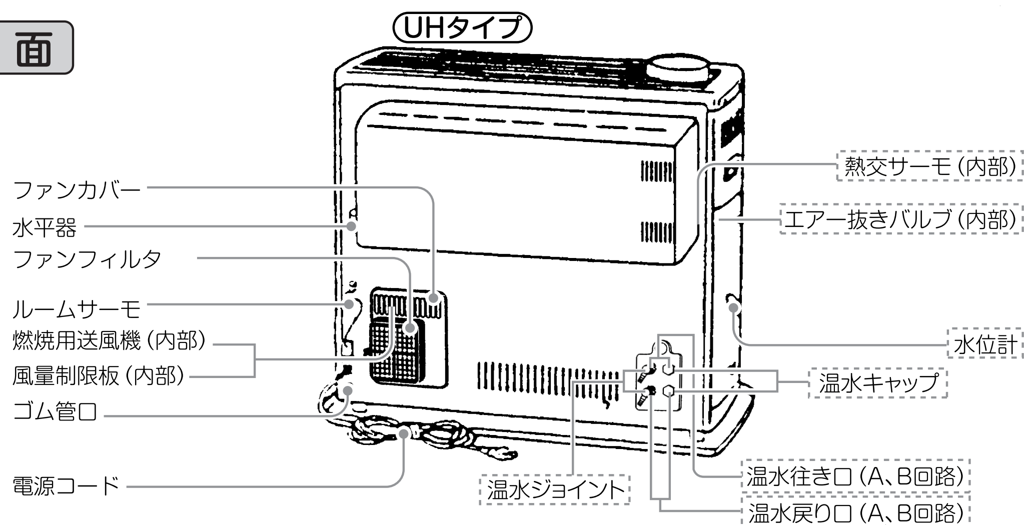
外　観　図

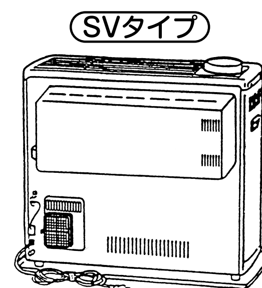
［点線枠］は（UHタイプ）のみ対象です。

正　面



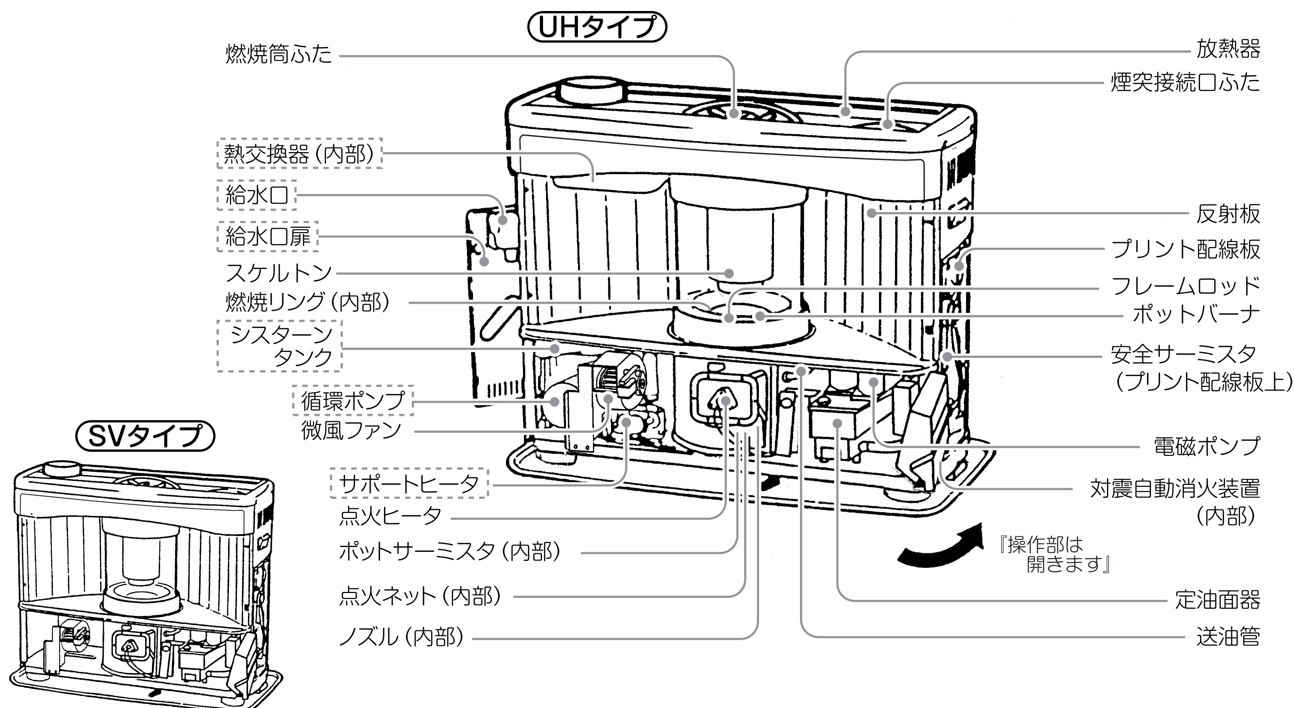
背　面





構　造　図

［点線枠］は（UHタイプ）のみ対象です。



表示部の名称と働き

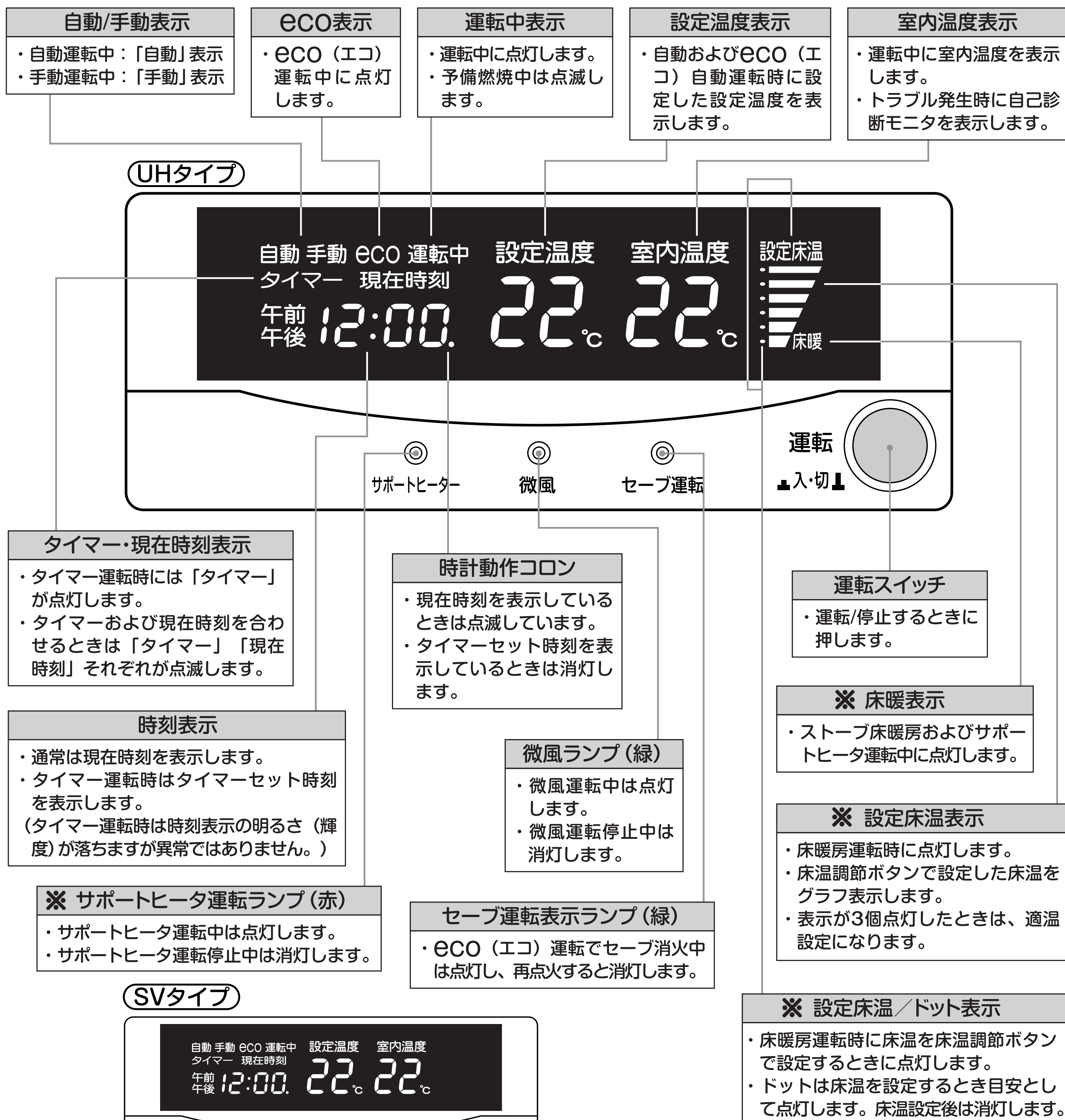
■運転停止中は節電のため表示はすべて消灯します。

●現在時刻を確認したい時は、操作部の押しボタンスイッチのいずれかを押してください。1分間、現在時刻を表示します。
●タイマー運転中は節電のため表示の明るさ（輝度）が落ちます。
※運転停止中も現在時刻を表示させることができます。（運転停止中も時計を表示させたいとき）(17ページ）の項を参照してください。

■「音声お知らせ」の内容

●通常の運転操作（「点火」・「消火」・「タイマーセット」）を行うとき、音声（「点火します」・「消火します」・「タイマーセットしました」）で操作状態をお知らせします。

注）※印は（UHタイプ）のみ対象です。



オープンポケット内操作部の名称と働き

■オープンポケットの開閉

●オープンポケットを軽く押しこむと、ゆっくり開きます。操作後、軽く押しもどすとロックして止まります。

操作するとき以外は、閉じてご使用ください。

■操作音について

●操作ボタンを押すとピッと音がします。
●誤操作をするとピッ音が2回します。

■表示部の明るさ調節

●時計調節スイッチを「通常」に合わせて「時ボタン」を押しながら「分ボタン」を押すことにより、表示部の明るさを調節することができます。
（このときピッ音が2回しますが、誤操作ではありません。）

■「音声お知らせ」の消音方法

●時計調節スイッチを「通常」に合わせて「時ボタン」を押しながら「eco運転ボタン」を押すことにより、「音声お知らせ」を消音することができます。
（このときピッ音が2回しますが、誤操作ではありません。）

注）※印は（UHタイプ）のみ対象です。

※ 床暖切換スイッチ

・「ストーブ床暖」運転と「ストーブ単独」運転を切り換えます。

※ 床温調節ボタン

温水出口温度を27～70℃の範囲に設定します。
・「低」…1回押すたびに設定温度を6℃下げる。
・「高」…1回押すたびに設定温度を6℃上げる。

時計調節スイッチ

・「時計合せ」…現在時刻を合わせるときに「時計合せ」位置にします。
・「タイマー合せ」…タイマーセット時刻を合わせるとき「タイマー合せ」位置にします。
・「通常」…現在時刻やタイマーセット時刻を合わせたら、通常使用中は、「通常」に必ずもどしてください。

火力調節つまみ

・火力調節つまみを「微少」～「大」の間で動かし火力をリニアに手動調節します。
・火力調節つまみを「自動」に合わせるとルームサーモによる自動運転（室温設定ボタンで室温を設定）ができます。

(UHタイプ)

※ サポートヒータスイッチ

・「入」にすると運転します。
・「切」にすると停止します。

サポートヒータの役目

・サポートヒータは電気ヒータです。
・春先や秋口など少し肌寒いと感じるくらいの季節にストーブを運転しないで床暖房運転ができます。
・ストーブ床暖房＋サポートヒータで床暖房能力をアップできます。

時ボタン

・時刻表示の「時」を合わせるときに押します。

分ボタン

・時刻表示の「分」を合わせるときに押します。
・時計調節スイッチの位置により、ボタンを押したときの進み方が異なります。
「時計合せ」…1分進みます。
「タイマー合せ」…5分進みます。

室温設定ボタン

・火力調節つまみを「自動」にするとルームサーモによる室温設定〔10～30℃〕ができます。
・「低め」…設定温度を1℃下げる
・「高め」…設定温度を1℃上げる

eco運転ボタン

・eco（エコ）運転のセット・解除をするときに押します。

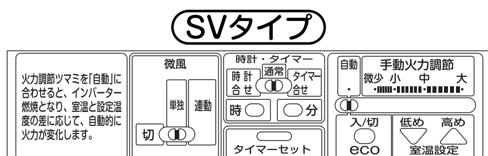
微風運転スイッチ

・「連動」…ストーブ運転と連動して、微風運転を開始します。
・「単独」…ストーブ運転に関係なく微風運転を開始します。
・「切」……微風運転を停止します。

タイマーセットボタン

・タイマー運転
運転スイッチ（または、サポートヒータスイッチ）を「入」にし、タイマーセットボタンを押すことにより、「タイマー」表示が点灯、時刻表示にタイマーセット時刻が継続して表示され、タイマー運転が開始されます。
（「タイマー」表示が点灯しなければタイマー運転は開始されません。）
・セット時刻になると、「タイマー」表示が消灯し現在時刻が表示されて自動的に運転が開始されます。
・タイマー運転の解除
タイマー運転中にもう一度、タイマーセットボタンを押すとタイマー運転が解除されます。

(SVタイプ)



お願い

●はじめてお使いになる前に
輸送時の傷を防止するために、操作部の表面には保護フイルムが貼ってあります。ご使用前に取り除いてください。コーナー部分にセロハンテープを貼り付けて、いっしょにはがすとより簡単に取り除けます。（保護フイルムはストーブの設置工事の際に、はがしてある場合があります）

4.使用前の準備

燃　料

燃料は灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。

⚠警告 ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



⚠注意 不良灯油（変質灯油、不純灯油）は絶対に使用しないでください。
点火、消火しにくくなったり、燃焼が悪くなってすすが出たり、製品の寿命を縮めます。



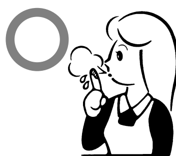
⚠注意 灯油は必ず火気・雨水・ごみ・高温および直射日光を避けた場所に保管してください。
ガソリンなどと一緒に保管しないでください。誤って使用すると異常燃焼や火災のおそれがあります。



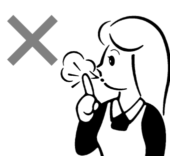
ご注意
●変質灯油、不純灯油などの不良灯油が原因で修理をされたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
●変質灯油の処理でお困りの場合は、灯油をお買い求めの販売店にご相談ください。

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけ、息をふきかけます。(火の気のない所で行ってください。)



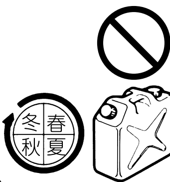
灯油は ぬれたまま



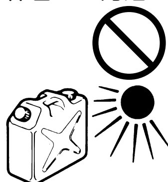
ガソリンは すぐ乾く

不良灯油（変質灯油・不純灯油）とは…

昨シーズンより持ち越しの灯油



長期間日光にあたる所や温度の高い所に保管した灯油



容器のふたが開けてあったり、乳白色のポリ容器で保管した灯油



水・ごみや灯油以外の油がほんのわずかでも混入した灯油



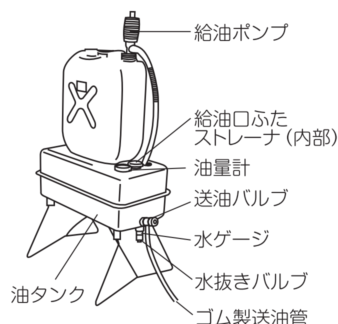
●極度に変質したものは、黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。
●必ず灯油用のポリタンクをお使いください。
●灯油はシーズン中に使いきりましょう。

■変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、機器の故障の原因になります。
●油の程度にもよりますが、燃焼不良をおこしたり、ストーブの損傷を早め、故障の原因になります。
● 水やごみが送油経路に流れこみ、油漏れや燃焼不良・着火不良の原因になります。

■変質灯油や不純灯油を使用したときは…
● お買い求めの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にご連絡ください。

給　油

■給油の際の手順と注意



⚠注意 火災のおそれがありますので、給油は、必ず消火し、火の気のないところで行ってください。

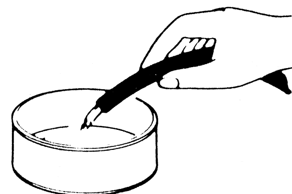
●送油バルブを閉じて給油口ふたを外し市販の給油ポンプで給油してください。
油量計の針が「満」をさしたら給油をやめてください。
給油後は、給油口にあるストレーナを取り出して、水やごみがたまっていたら掃除してください。
●ストレーナを取り付けて、給油口ふたを必ずもとどおり締めてください。

●給油の際は、水・ごみなどを入れないように注意してください。
水・ごみなどは燃焼不良や、ストーブの寿命低下などの原因になります。
●給油口ふたは、確実に締めてください。

●こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

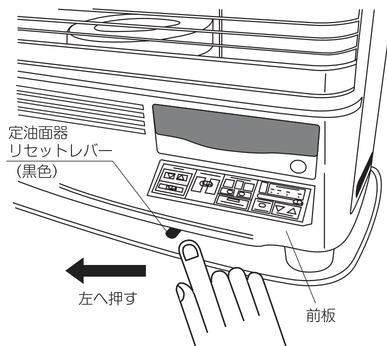
油タンクを空にしないように注意してください。
油タンクを一旦空にしますと、送油経路内に空気がたまり、正常に送油ができなくなることがあります。
このような場合は次の順序で空気抜きをしてください。



1. 送油バルブを閉め油タンクに給油します。
2. ストーブのゴム管口から、ゴム製送油管を外します。
3. 送油バルブを開けゴム製送油管から灯油が連続して流れ出ることを確かめてからゴム製送油管をもとどおりにストーブに取り付けます。(灯油がこぼれないように容器を用意してください。)

運転開始前の準備と確認

■安全装置のセット、取扱い上の注意



定油面器のセット

初めて使用するときやシーズン初めには、ストーブ正面右下の定油面器リセットレバー（黒色）を左方向に止まるまで押してください。

ご注意

- リセットレバーは据付け時やシーズン初めに操作します。定油面器に強い衝撃を与えたり異常があったとき以外は、特に操作する必要はありません。万一点火操作後灯油が出ずにモニタサインＥ１またはＥ２が表示されるような場合はリセットレバーを押してください。（安全弁が外れ、灯油がスムーズに流れます。）
- リセットレバーは乱暴に扱ったり、5秒以上押したままの状態や何回も押さないでください。定油面器から灯油があふれたりすることがあります。

■送油経路の油漏れの確認

⚠注意 **油タンク・ゴム製送油管・接合部・給油コックおよびストーブなどから灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。**

- 油漏れのあるときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じてからお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。

■電気配線の確認

⚠注意 **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。**

- 電源コードが煙突などの高温部にふれるおそれのないことを確認してください。

ご注意 **電源プラグ・コードの発熱・発火を防ぐために…**

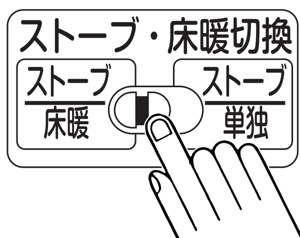
- 電源は必ず適正配線された単相100Vコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしないでください。

■点火の要領と注意 （UHタイプ）

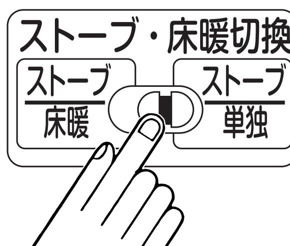
床暖切換スイッチのセット

ストーブ単独で運転する場合は「ストーブ単独」に、ストーブ床暖房運転をおこなう場合は「ストーブ床暖」に、床暖切換スイッチをセットしてください。床暖切換スイッチのセットは運転開始前に行ってください。

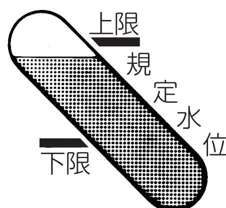
●ストーブ床暖房で運転する場合



●ストーブ単独で運転する場合



循環液の水位確認



- **ストーブ左側面の水位計で、シスターンタンクの規定水位（上限水位と下限水位の間）まで循環液（コロナ床暖房用循環液）が入っていることを確認してください。循環液が入っている場合は黄色になります。**

  循環液は上限以上入れないよう注意してください。循環液を上限以上入れると使用中に循環液があふれることがあります。

  水位が下限以下の場合は、床暖房専用補充液を入れてください。

温水配管の水漏れの確認

- ストーブ内部や温水配管接合部から水漏れがないか確認してください。
- 床暖パネルの温水配管の途中にバルブを取り付けた場合は、必ずバルブが開いていることを確認してください。

■運転中に床暖切換スイッチを操作した場合の注意

- ストーブ単独→ストーブ床暖 …自動的に一旦消火して、約10分後に再点火し、ストーブ床暖房運転を開始します。そのとき、「ジュー」という循環液の蒸発音が発生することがありますが異常ではありません。
- ストーブ床暖→ストーブ単独 …運転はそのまま継続します。しばらくして「ジュー」という循環液の蒸発音がしますが異常ではありません。

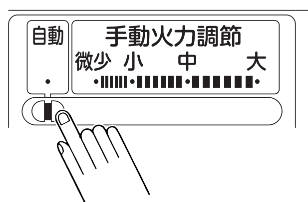
5.使用方法（使い方）

運転開始（点火）

●オープンポケット内の火力調節つまみで「自動運転」と「手動運転」が設定できます。
ご希望の運転方法でご使用ください。

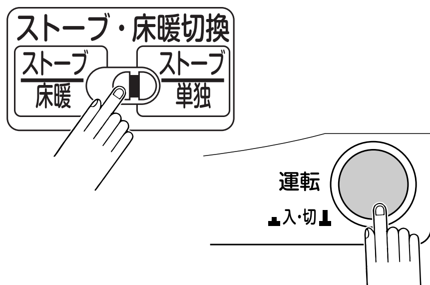
点火順序

■ストーブ火力調節「自動運転」の場合



●火力調節つまみを「自動」に合わせてください。設定温度と部屋の状況に応じた火力で燃焼します。
●時計合せは15ページ「現在時刻の調節方法」を参照して行ってください。

SVタイプ　UHタイプ
ストーブ単独運転



1. 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
2. オープンポケット内の床暖切換スイッチを「ストーブ単独」に合わせてください。（UHタイプ のみ対象です）
3. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
「点火します」の音声と同時に、「運転中」が点滅し、約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。

※図は UHタイプ で説明しています。



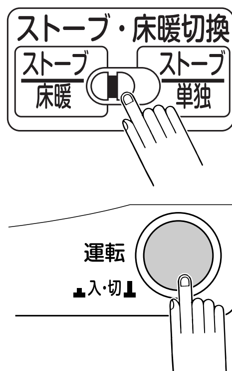
手動		・運転スイッチを押す
	同時	・音声「点火します」 ・「運転中」表示点滅 ・設定温度表示・室内温度表示点灯 ・燃焼用送風機まわる
	予備燃焼3～4分	・小油量流出
自動運転	本燃焼	・「運転中」表示点灯 ・設定温度と部屋の状況に応じた火力になる

※予備燃焼後約2.5分間、火力は中火力になります。
●予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

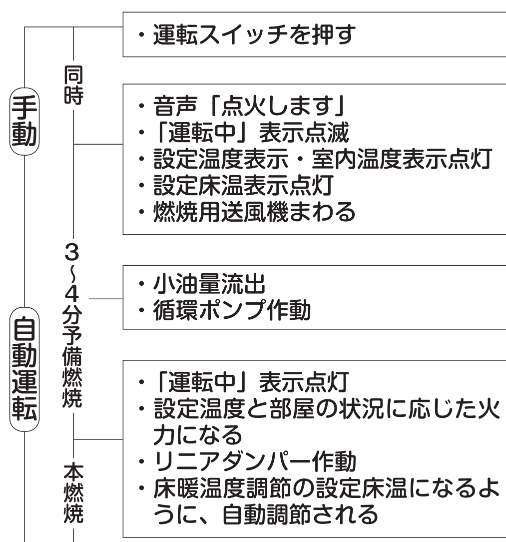
運転開始（点火）

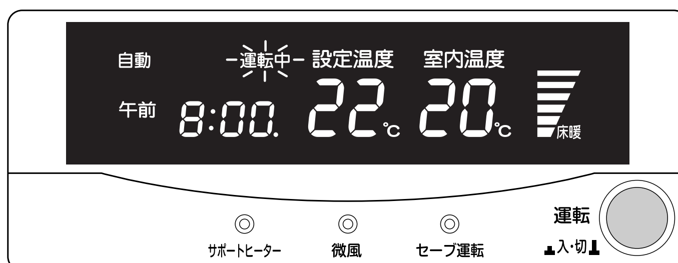
（UHタイプ）

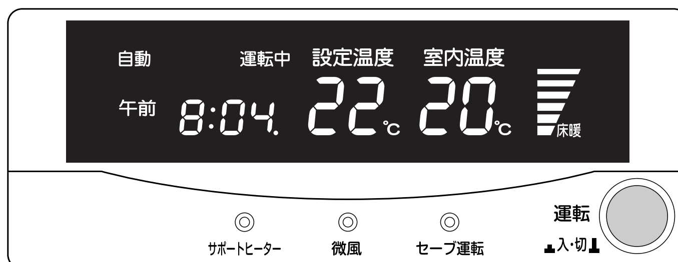
ストーブ床暖房運転



1. 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
2. オープンポケット内の床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」に合わせてください。
3. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
   「点火します」の音声と同時に、「運転中」表示が点滅し、約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。







※予備燃焼後約2.5分間、火力は中火力になります。

●予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

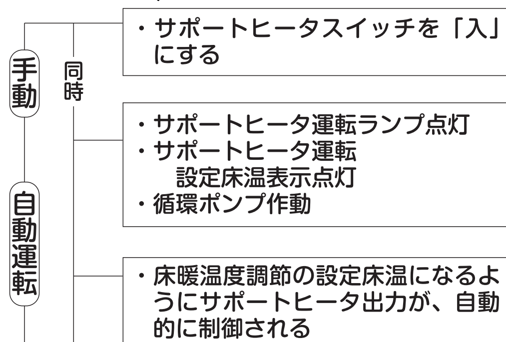
（UHタイプ）

サポートヒータ運転

●サポートヒータは電気ヒータです。春先や秋口など少し肌寒いと感じるくらいの季節にストーブを運転しないで床暖房運転ができます。



1. 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
2. オープンポケット内のサポートヒータスイッチを「入」にしてください。
   次のように運転します。





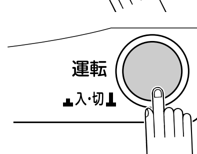
※サポートヒータの通電を停止すると節電のため、表示が消灯します。

UHタイプ

ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転

●ストーブ床暖房プラスサポートヒータで床暖房能力をアップできます。





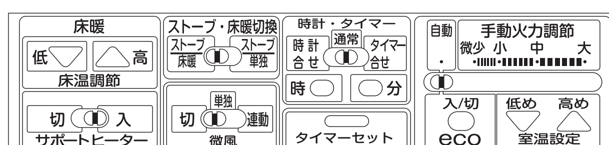


1. 時刻表示が現在時刻を表示していることを確認してください。
2. オープンポケット内の床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」に合わせてください。
3. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
   「点火します」の音声と同時に、「運転中」表示が点滅します。
4. オープンポケット内のサポートヒータスイッチを「入」にしてください。
   約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。

区分	時期	内容
手動	同時	・運転スイッチを押す ・サポートヒータスイッチを「入」にする
自動運転	3～4分予備燃焼	・音声「点火します」 ・「運転中」表示点滅 ・設定温度表示・室内温度表示点灯 ・設定床温表示点灯 ・燃焼用送風機まわる ・サポートヒータ運転ランプ点灯
		・小油量流出 ・循環ポンプ作動
	本燃焼	・「運転中」表示点灯 ・設定温度と部屋の状況に応じた火力になる ・リニアダンパー作動 ・床暖温度調節の設定床温になるように、リニアダンパーおよびサポートヒータ出力が、自動的に制御される ・サポートヒータ運転



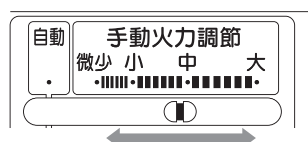




※予備燃焼後約2.5分間、火力は中火力になります。

●予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

■ストーブ火力調節「手動運転」の場合



●オープンポケット内の火力調節つまみを「微少」～「大」の間のご希望の位置に合わせてください。
表示部の設定温度表示が消え、予備燃焼が終了すると火力調節つまみの設定火力で燃焼します。
ただし、予備燃焼後、約2.5分間は最大火力になりません。

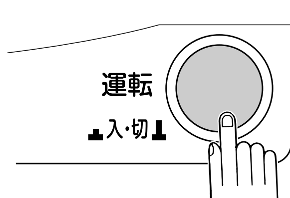
●予備燃焼時に黄色い炎（赤火）が混じる場合がありますが、異常ではありません。

●運転スイッチを「入」にしたとき、「タイマー」表示が点灯する場合はタイマー運転になりますので、タイマーセットボタンを押してタイマー運転を解除してください。

●燃焼中に運転スイッチを押して「消火」にしたり、タイマーセットボタンを押すなどして約１秒以上通電を止めると自動消火し、約2分間の冷却の後でないと再点火できません。

運転停止（消火）

消火順序

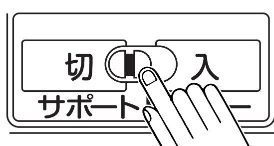


運転スイッチを押して「切」にしてください。
「消火します」の音声と同時に「運転中」表示が消灯し、消火します。
燃焼室が冷却すると、約10分後に燃焼用送風機、対流用送風機、※循環ポンプ（ストーブ床暖房運転のみ）が停止し、すべての表示が消灯します。

※印は UHタイプ のみ対象です。

UHタイプ

サポートヒータ運転

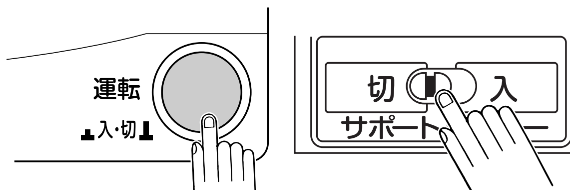


サポートヒータスイッチを「切」にしてください。
サポートヒータ運転ランプ、設定床温表示が消灯し、サポートヒータ、循環ポンプが運転を停止し、すべての表示が消灯します。

運転開始（消火）

（UHタイプ）

ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転



運転スイッチ、サポートヒータスイッチを「切」にしてください。「消火します」の音声と同時に、サポートヒータ運転ランプ、「運転中」表示が消灯しサポートヒータが運転を停止します。燃焼室が冷却すると、約10分後に燃焼用送風機、対流用送風機、循環ポンプが停止し、すべての表示が消灯します。サポートヒータスイッチの切り忘れに注意してください。

●運転停止中は、節電のためすべての表示が消灯します。

⚠注意　2日以上家をあけるなど長時間使用しない場合は、運転が完全に停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。

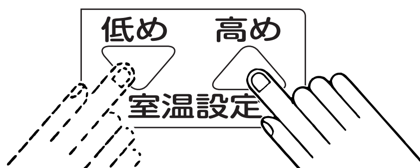
●外出のときは、必ず運転を停止（消火）してください。
●運転中は電源プラグを抜いての消火はしないでください。ガラス円筒にすすがついたり、ストーブが過熱して故障の原因になります。
●運転停止後、燃焼室が冷却するまでは電源プラグを抜かないでください。ガラス円筒にすすがついたり、ストーブが過熱して故障の原因になります。

消火後、再点火するときの注意

●燃焼中に誤って電源プラグを抜いたり、運転スイッチを「切」にすると再点火安全装置の働きでストーブが冷却されるまでの約2分間は再点火できません。ただし瞬間的な消火操作（約1秒以内）の場合は、そのまま燃焼が継続されます。

室温の調節（自動運転）

オープンポケット内の火力調節つまみを「自動」に合わせると、ルームサーモによる自動運転となり、室温を10～30℃まで設定されます。表示部に設定温度（22℃）が表示されますので次のように調節してください。



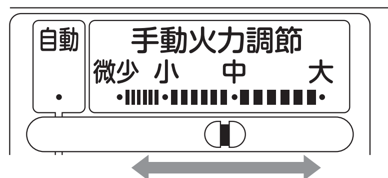
●室温設定ボタン「高め」を押すと１℃上がります。（上限30℃）
●室温設定ボタン「低め」を押すと１℃下がります。（下限10℃）

ご注意　●室温調節はストーブの位置や部屋の大きさなどで、必ずしも表示部の設定温度とは一致しない場合があります。

●自動運転時に微少火力でも室温が設定温度より上昇する場合、設定温度より3℃上昇すると自動的に消火するeco（エコ）運転をおすすめします。（14ページ　eco（エコ）運転の項を参照してください。）
室温が、設定温度より3℃上昇すると消火し、お部屋のムダな暖めすぎをおさえます。

火力調節（手動調節－手動運転）

室温設定による自動運転の他に、火力調節つまみによる手動火力調節が可能です。次のようにしてください



●オープンポケット内の火力調節つまみを「微少」～「大」の間のご希望の位置に合わせてください。火力調節つまみの設定火力で燃焼します。

〈床暖房運転時の手動火力調節について〉（UHタイプ）
●本ストーブの床暖房能力は使用火力によって変化します。パネル敷畳数が多い場合火力調節が低いと床暖パネルが温まらないことがあります。お使いのパネル敷畳数をご確認の上、下記の表を目安に火力の調節をしてご使用ください。

畳数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
火力	微少	小火力			中火力			大火力		

■炎の状態

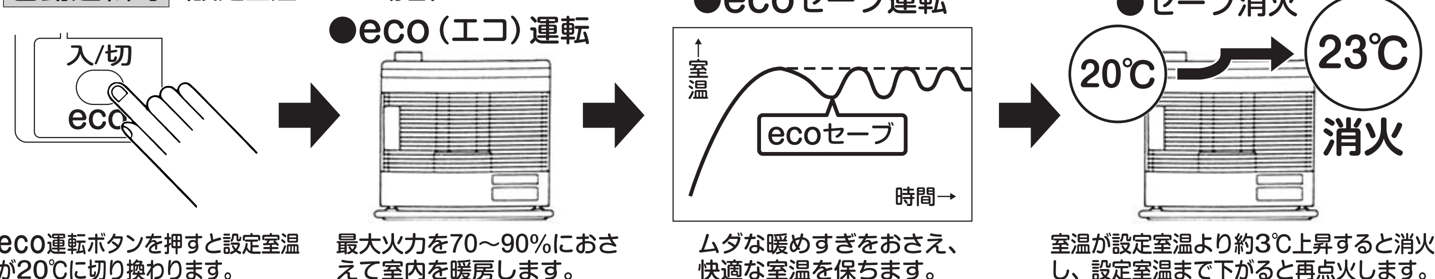
ストーブの据付けや給排気筒の設置条件で、炎は多少変化します。

●燃焼中の炎に黄色い炎（赤火）が混じったり、かたよったり、上下変動することがありますが異常ではありません。
●ホコリを吸気した場合は全体的に淡いオレンジ色になることがありますが異常ではありません。

eco（エコ）運転

eco（エコ）運転は、自動運転時にeco運転ボタンを押すとご希望の設定室温に切り換わり、セーブ消火とecoセーブ運転でムダな暖めすぎをおさえ、経済的で快適な室温を保ちます。
また、自動運転時は最大火力を70～90%、手動運転時は最大火力を80～90%におさえてお部屋を暖めすぎないように運転します。

自動運転時〔設定室温20℃の場合〕



eco運転ボタンを押すと設定室温が20℃に切り換わります。

最大火力を70～90%におさえて室内を暖房します。

ムダな暖めすぎをおさえ、快適な室温を保ちます。

室温が設定室温より約3℃上昇すると消火し、設定室温まで下がると再点火します。

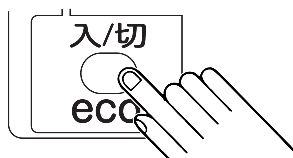
※設定温度の初期設定は20℃です。設定温度は、室温設定ボタンで10～30℃に変更できます。
●室温が20℃未満で30分以上運転した場合は、最大火力を90%におさえて運転します。
●室温が20℃以上の場合、最大火力を80%におさえて運転します。
●室温が24℃以上で30分以上運転した場合、（設定温度を22℃以上に設定）最大火力を70%におさえて運転します。

●eco（エコ）運転でセーブ消火がくりかえされるとガラス円筒にすすがつくことがあります。ときどきeco（エコ）運転を解除し、火力を中～大で1～2時間燃焼させてください。

手動運転時

※火力調節つまみが「中」～「大」のときeco（エコ）運転をします。
●室温が20℃以上の場合、最大火力を90%におさえて運転します。
●室温が24℃以上で30分以上運転した場合、最大火力を80%におさえて運転します。

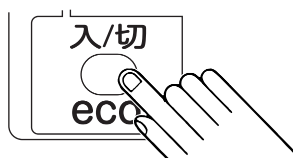
■eco（エコ）運転方法



eco運転ボタンを押してください。

●eco運転表示ランプが点灯し、eco（エコ）運転に入ります。

■eco（エコ）運転の解除



再度、eco運転ボタンを押してください。

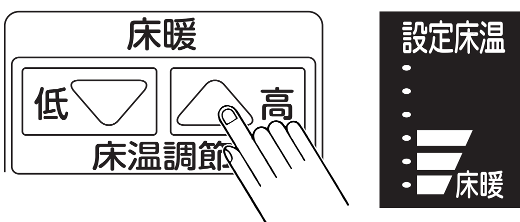
●eco（エコ）運転表示ランプが消灯し、eco（エコ）運転を解除します。
●eco（エコ）運転を解除するとeco（エコ）運転前の設定に戻ります。

●eco（エコ）運転は一度セットすると記憶されますので、消火しても解除されません。

●電源プラグを抜いたり、停電があった場合は自動的に解除されます。

床暖パネルの温度調節 UHタイプ

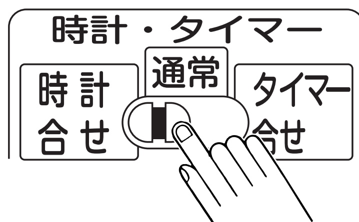
ストーブ床暖房運転、サポートヒータ運転、ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転のいずれの場合も循環液が設定温度になるように、自動的に温度調節されます。また、設定床温は6段階にグラフ表示されます。グラフ表示3つ目は、床暖パネルのカーペット表面をほぼ33～34℃（床暖パネル3畳の場合）に保つ循環液温度を示します。ご参考にされると便利です。



●床温調節ボタンを押すと次のように床温調節でき設定床温表示グラフも移動点灯します。
・「低」……１回押すと設定温度を6℃下げ、グラフ表示が下に移動。
・「高」……１回押すと設定温度を6℃上げ、グラフ表示が上に移動。

●設定床温は、床暖パネルの温度設定です。お部屋の温度設定は設定温度または、火力調節つまみで行ってください。カーペットの表面が熱くなりすぎないよう設定床温には、十分注意してください。

現在時刻の調節方法



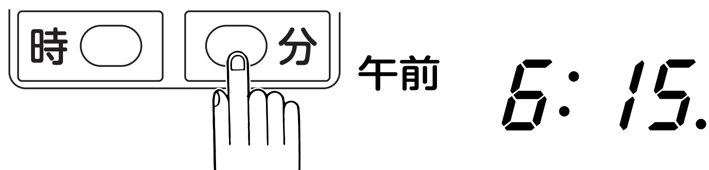
1. オープンポケット内の時計調節スイッチを「時計合せ」にします。
はじめて使用するときや、電源プラグを長時間抜いたときは、時刻表示は－：－－を表示します。
2. 時計調節の「時」・「分」ボタンを押して現在時刻を合わせます。
１回押すと「時」ボタンは１時間、「分」ボタンは１分進みます。
3. 必ず時計調節スイッチを「通常」位置にもどしてください。
（時計は、時計調節スイッチを「通常」位置にもどした時点から動き始めます。）

例：午前6時15分に合わせる場合

①「時」ボタンを押して“午前6：00”にします。



②「分」ボタンを押して“午前6：15”にします。



●必ず時計調節スイッチが「通常」になっていることを確認してください。
●30秒以内のの停電であれば、再通電後も現在時刻を表示しますので時刻合わせの必要はありません。
それ以上の停電で時刻表示が －：－－ を表示した場合は、時刻合わせを行ってください。

タイマーの使用方法

■タイマーセット時刻の合わせ方



●現在時刻とタイマーセット時刻が設定されていないと、タイマー運転はできません。

1. オープンポケット内の時計調節スイッチを「タイマー合せ」にします。
2. 時計調節の「時」・「分」ボタンを押してタイマーセット時刻を合わせます。1回押すと「時」ボタンは1時間、「分」ボタンは5分進みます。
3. 必ず時計調節スイッチを「通常」位置にもどしてください。

例：午前6時30分に合わせる場合

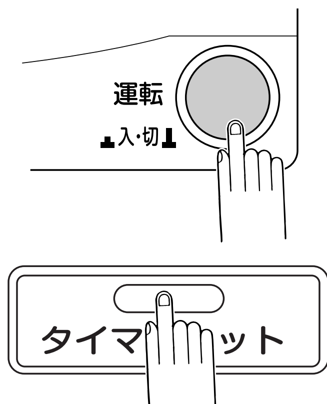
①「時」ボタンを押して“午前6：00”にします。



②「分」ボタンを押して“午前6：30”にします。



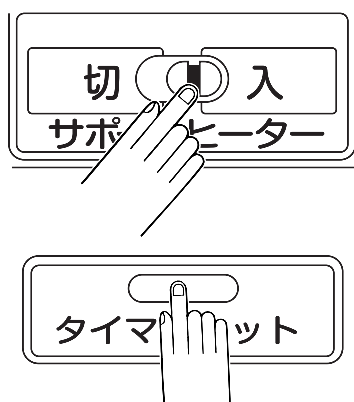
■タイマー運転方法



1. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
   (運転中の場合は運転スイッチを押す必要はありません。)
2. ご希望の設定温度または、火力に合わせてください。
3. ※床温調節ボタンで、ご希望の設定床温に合わせてください。
   (ストーブ床暖房運転の場合)　※印は UHタイプ のみ対象です。
4. タイマーセットボタンを押してください。
   「タイマーセットしました」の音声と同時に時刻表示にタイマーセット時刻が表示され、「タイマー」表示が（燃焼中の場合も）点灯し、タイマー運転に入ります。

UHタイプ

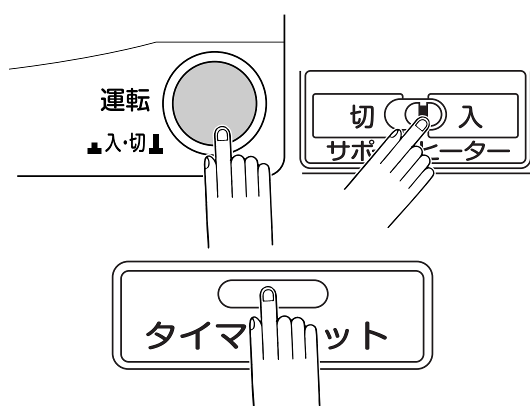
サポートヒータ運転



1. オープンポケット内のサポートヒータスイッチを「入」にしてください。
2. 床温調節ボタンでご希望の設定床温に合わせてください。
3. タイマーセットボタンを押してください。
   「タイマーセットしました」の音声と同時に、時刻表示にタイマーセット時刻が表示され、「タイマー」表示が点灯し、タイマー運転に入ります。

UHタイプ

ストーブ床暖房・サポートヒータ併用運転

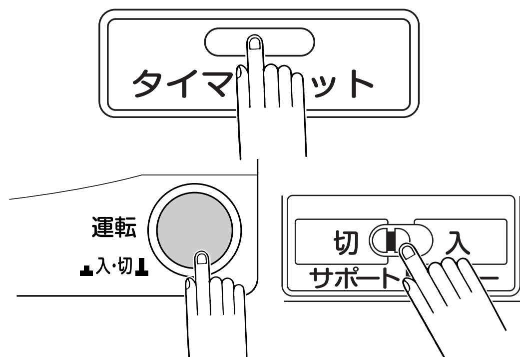


1. 運転スイッチとサポートヒータスイッチを「入」にしてください。
   (運転中の場合は運転スイッチを押す必要はありません。)
2. ご希望の設定温度または、火力に合わせてください。
3. 床温調節ボタンでご希望の設定床温に合わせてください。
4. タイマーセットボタンを押してください。
   「タイマーセットしました」の音声と同時に時刻表示にタイマーセット時刻が表示され、「タイマー」表示が点灯し、タイマー運転に入ります。

●外出時など、留守中に燃焼を開始するようなタイマーセットは、絶対にしないでください。
●タイマー運転は、運転スイッチが「入」になっていないと運転が開始されません。
●タイマー運転中は、節電のためタイマーセット時刻表示の明るさ（輝度）が落ちます。
●タイマーセット時刻になるまでは、時刻表示にタイマーセット時刻と「タイマー」表示が表示され続けます。
●タイマー運転設定後に停電（30秒以上）があった場合や、ストーブが揺れて対震自動消火装置が作動した時は、点火しません。

タイマーの使用方法

■タイマー運転の解除



●再度、タイマーセットボタンを押してから運転スイッチおよびサポートヒータスイッチを「切」にしてください。
タイマー表示が消灯し、現在時刻表示に現在時刻が表示され（時計動作コロン点滅）、タイマー運転が解除さます。

現在時刻・タイマーセット時刻の確認

●現在時刻の確認
・時計調節スイッチを「時計合せ」に合わせます。



午後 10:30.

時刻表示に現在時刻が表示されます。

●タイマーセット時刻の確認
・時計調節スイッチを「タイマー合せ」に合わせます。



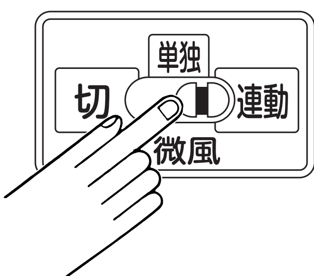
午前 6:30

時刻表示にタイマーセット時刻が表示されます。

●確認後、時計調節スイッチは、必ず「通常」位置にもどしてください。

微風ファンの使用方法

●微風でお部屋の空気を循環し、効率よく暖房します。

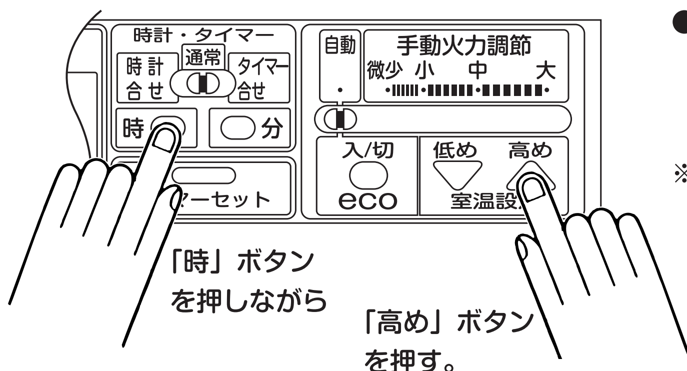


オープンポケット内の微風運転スイッチを「連動」または、「単独」に合わせてください。微風運転が開始されると微風吹出口から微風が出てきます。
- 「連動」に合わせるとストーブが運転し、予備燃焼終了後、微風ランプが点灯し、微風運転を開始します。
- 「単独」に合わせると微風ランプが点灯し、ストーブ運転に関係なく微風運転を開始します。
- 「切」に合わせると微風ランプが消灯し、微風運転を停止します。

運転停止中も時計を表示させたいとき

●運転停止中は節電のため現在時刻は消灯しますが、下記の方法により現在時刻を表示させることができます。

■現在時刻を表示させる方法



「時」ボタンを押しながら

「高め」ボタンを押す。

●時計調節スイッチを「通常」位置に合わせて「時」ボタンを押しながら室温設定ボタン「高め」を押すことにより、常に現在時刻を表示させることができます。
（停電になった場合は再度操作をおこなってください。）
※節電中に操作部のいずれかのボタンを押すことにより、現在時刻を確認することができます。

自己診断モニタについて

ストーブにトラブルが発生すると、トラブルの状態が表示部に記号表示（自己診断モニタ）されます。
「故障・異常の見分け方と処置方法」（25～26ページ）をご覧になり、記号表示に合った必要な処置をしてください。

〈自己診断モニタ〉

表示	原因	解除方法	表示	原因	解除方法
E1	途中消火	①	P1	ポット予熱不足	②
E2	不着火	①	P2	ポット温度低下	②
E3	対震作動	①	P3	ポット異常過熱	②
E6	ルームサーモ断線	①	P4	不消火（消火時間が長い）	②
E7 E9	停電	①	P5	基板不良	②
E8	疑似火炎	①	F1 ※	熱交サーモ作動	①
EA	燃焼用送風機異常検出	①	F2 ※	湯温サーミスタ断線	①
EC	ルームサーモ短絡	①	FC ※	湯温サーミスタ短絡	①
EE	停止時ポット異常過熱	①			
E0	基板温度異常	①			

注）※印は（UHタイプ）のみ対象です。

■解除方法

①運転スイッチを一旦「切」にし、再び「入」にしてください。
②お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

お願い

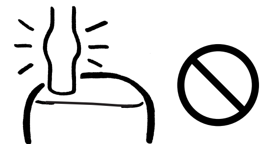
●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに連絡していただく際は、表示している自己診断モニタもお知らせください。

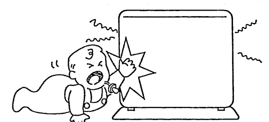
使用上の注意

本書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」の他に、次の項目についても注意してください。



●煙突閉そく危険
煙突がつまったり、ふさがれたままで使用しないでください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。





●ストーブの上面板・上面ガード・前面ガードなどは高温です。やけどに注意してください。
特にお子さまをストーブに近づけないでください。
●上面ガードを取り外したり、前面ガードを開いたまま使用しないでください。誤って放熱器やガラス円筒などの高温部にふれますとやけどをします。また上面ガードは、地震などにより可燃物が落下したときなどに火災を防止するためのものです。やむをえず取り外した場合は、必ずもとの状態に取り付けておいてください。
●煙突は高温です。やけどに注意してください。
●雷が発生したとき、雷（誘導雷）により一時的な過電圧がかかっても、過電圧防止装置がストーブを保護するしくみになっていますが、大きな雷（直撃雷など）の場合は、電子部品を損傷するおそれがありますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●ガラス円筒には水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。ガラスが割れ危険です。
●ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので、熱に弱いものを置いたり、敷いたりしないでください。
変色や変形したりすることがあります。
●シーズンオフのように長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

床暖房の床温調節 （UHタイプ）

●設定床温は、床暖パネルの温度設定です。お部屋の温度設定は設定温度または火力調節つまみで行ってください。
カーペットの表面が熱くなりすぎないよう設定床温には十分注意してください。
●長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。比較的低い温度（40～60℃）でも低温やけどや脱水症状の原因になります。

循環水の凍結予防（循環液の注入） （UHタイプ）

腐食予防および凍結予防のために必ず循環液を入れてください。
●循環液は必ずコロナ床暖房用循環液（別売品）をご使用ください。他の不凍液を使用したり混合したりすると製品の寿命が短くなります。
●循環液は3年を目安に入れかえてください。（開封した循環液も含む）

6.安全装置

このストーブには次のような安全装置がついています。
すべての安全装置は、異常が取り除かれても再度点火操作をしなければ運転は停止したままです。

安 全 装 置	原因・作動結果	処 置 方 法
対震自動消火装置 （E3 表示）	●強い地震（震度約5以上）や衝撃を受けたとき ⇩ ・自己診断モニタ E3 表示 ・ストーブの運転を停止	●ストーブの周囲や煙突の接続部・煙突トップの外れ、油漏れなどの異常がないことを確認してから点火操作をしてください。 （対震自動消火装置は作動後自動的にセットされます。）
点火安全装置 ・ 燃焼制御装置 （フレームロッド） E1表示・E2表示 （途中消火）（不着火）	●点火ミスをしたとき ●途中消火をしたとき ●炎が異常に小さいとき ⇩ ・自己診断モニタ E1 表示または E2 表示 ・ストーブの運転を停止	●油タンクの送油バルブが閉じられていないか確認してください。 ●ゴム製送油管に空気だまりがないか確認してください。 ●定油面器の安全装置が作動していないか確認してください。 ●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。
停電安全装置 E7表示・E9表示 （30秒以上）（1秒以上 30秒未満）	●停電したとき ●電源プラグが抜けたとき ⇩ ・通電後自己診断モニタ E7 表示または E9 表示 ・ストーブの運転を停止	● E7 の場合、時計などのセットをしてから、点火操作をしてください。 ● E9 の場合、通電後点火操作をしてください。 ●電源プラグを確認してください。

7.その他の装置

装置の名称	原因・作動結果	処置方法
再点火安全装置	●消火直後、再点火操作したとき ⇩ ・約2分間の冷却後でないと点火動作に入らない	●ストーブが冷えてから運転を行ってください。
燃焼用送風機異常検出装置（EA表示）	●回転数が異常に低下したとき ⇩ ・自己診断モニタ EA 表示 ・ストーブの運転を停止	●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。
過電流防止装置（表示部全消灯）	●内部配線のショートにより過電流が流れたとき ⇩ ・電流ヒューズが切れ、すべての運転を停止	●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。
※ 循環水過昇防止装置（F1表示）	●循環液が減少したとき ●循環液が循環しないとき ⇩ ・自己診断モニタ F1 表示 ・ストーブの運転を停止	●循環液の量を確認する等により循環液過昇原因を取り除いてから、点火操作をしてください。 ●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。
※ サポートヒータ過熱防止装置	●循環液が減少したとき ●循環液が循環しないとき ⇩ ・サポートヒータへの通電を停止 （温度が下がると自動的に通電を再開）	●運転をいったん停止して、日常の点検・手入れ（22ページ）をしてください。 ●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。
安全サーミスタ（73℃）（E0表示）	●ストーブの上面および側面が囲われているとき ●ストーブの前面に障害物などがあるとき ⇩ ・自己診断モニタ E0 表示 ・ストーブの運転を停止	●ストーブ周囲の障害物を取り除いてください。 ●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

注）※印は UHタイプ のみ対象です。

8.日常の点検・手入れ

点検、手入れのときの注意

点検・手入れは消火後、ポットバーナが冷却してから必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



●故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理は危険です。
●定期的（2年に1回程度）に点検・整備を受けてください。点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。

点検、手入れの必要項目、時期、方法

■周囲の可燃物（使用ごと）



ストーブおよび煙突の周囲は、常に整理・掃除し、燃えやすいものを置かないでください。

■ほこり（使用ごと）

●ストーブにほこりが付いた状態で運転をしないでください。
●ストーブ外観のほこりや汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとってください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

■油漏れ・油のたまり・油のにじみ（使用ごと）

●置台・油タンクに油漏れ・油のたまりや油のにじみがないか、点検してください。
また、給油の際にこぼれた灯油は、よくふきとってください。

お願い
●油漏れがある場合は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

■ゴム製送油管の点検・交換の目安（シーズンの初め）



油タンクやゴム製送油管・接合部・給油コックおよびストーブなどからの灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。

ご注意
ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
ゴム製送油管は、経年変化しますので手で少し曲げ、ひび割れがないか点検し、ひび割れがあるときは交換してください。交換の目安は、3年に1度です。交換はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

■油タンク（シーズンの初め、適時）

●油タンク内に水やごみがたまってないか点検してください。
油タンク内の水抜きおよび掃除は、油タンク付属の取扱説明書に従って行ってください。

■煙突の接続部のゆるみおよびトップの周囲（シーズンの初め、適時）

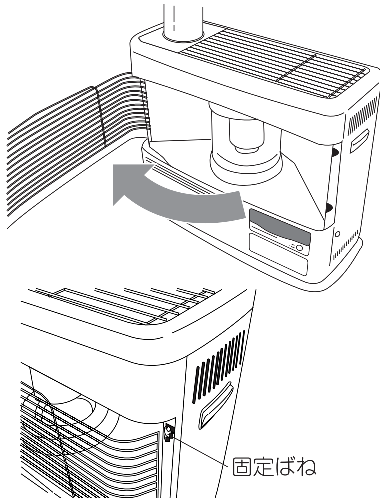
●煙突の接続部、煙突トップの外れがないかを点検してください。煙突が腐食したり、穴があいたりしていると危険です。新しい物に交換してください。
●煙突の近くには燃えやすいものを置かないでください。
●煙突内や煙突トップが雪や氷でふさがれていないか、落雪などで倒れていないか点検してください。
●煙突内は結露で生じた水滴が凍ってつまると危険です。点火時に煙突のつなぎ目やストーブより異常な煙が出たら消火して、煙突内を点検してください。
●煙突が小鳥の巣や紙などでふさがれていないか点検してください。

■定油面器のストレーナの掃除（適時）

お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

●定油面器には、ごみを除くためのストレーナがついています。
水やごみがたまると灯油の流れを妨げて、十分な火力が出なくなる場合や灯油が漏れるおそれがあります。
１シーズンに１～2回（シーズン初めなど）は、お買い求めの販売店またはコロナサービスセンターに掃除・点検を依頼してください。

■反射板・ガラス円筒の掃除（適時）



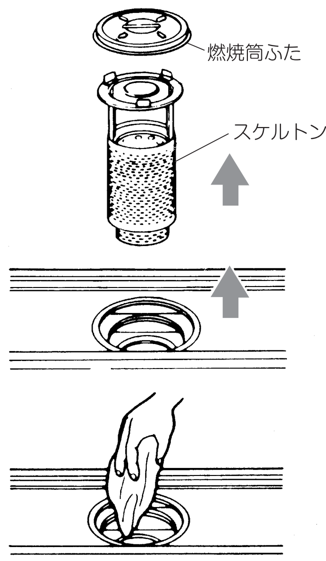
ご注意 **掃除は、ストーブを消火させ十分冷却してから行ってください。**
熱い状態で行うとやけどのおそれがあります。

●反射板およびガラス円筒にほこりがたまると反射効率が悪くなるばかりでなく危険です。
次のようにほこりを取り除いてください。

1. 前面ガードを右側の固定ばね（2個）から外し左側にまわしてください。
2. ガラス円筒を割らないように注意して掃除機などで反射板およびガラス円筒のほこりをきれいに掃除してください。
3. やわらかい布などで反射板およびガラス円筒をきれいにふいてください。
4. 掃除が終わったら、もとどおりに取り付けてください。

●前面ガードは、確実に取り付けてください。

■ガラス円筒内部の掃除（適時）（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）



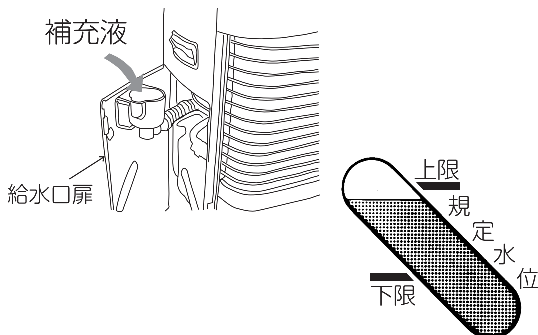
ご注意 **掃除は、ストーブを消火させ十分冷却してから行ってください。**
熱い状態で行うとやけどのおそれがあります。

●長期間の使用や油だまりによる大燃焼の後にはガラス円筒がすすけることがあります。ガラス円筒がすすけて炎が見えにくくなったときは、しばらくの間（約30分間）火力を大きくすることにより、すすを除去することができます。それでもすすを除去できない場合は次のように、スケルトンを外してガラス円筒を掃除してください。

1. 上面ガードを外してください。
2. 燃焼筒ふたを外してください。
3. スケルトンをガラス円筒にあてないように取り外してください。
4. 布などでガラス円筒の内側をふきとってください。
5. 掃除が終わりましたら、スケルトンを図のように正しく取り付けてください。
   取り外した部品をもとどおり正しく取り付けてください。

●ガラス円筒には、水をかけたり、衝撃を与えないように注意してください。

■循環液の補給（適時）（UHタイプ）



シスターンタンク内の循環液は、少しずつ蒸発します。
ときどき水位を確認して循環液が不足している場合は、給水口扉を開き、規定水位まで床暖房専用補充液を補給してください。

ご注意 **循環液は「上限」以上補給しないでください。**
使用中に循環液があふれることがあります。

●コロナ純正床暖房用循環液は、凍結予防の他に床暖房に使用される機器（ストーブ・床暖パネル・配管部品など）の防錆効果を目的に作られた循環液です。循環液はすでに純水で適正な濃度に調合してありますので、試運転時にはこのままストーブに入れてください。
●他社銘柄の防錆剤、不凍液（特に車両用など）を使用したり、混合したりすると防錆効果が発揮されず機器の耐久性がそこなわれたり粘度があわずポンプの性能が十分発揮されずに、沸騰してしまうことがあります。
●循環液は、常温では引火しませんが、加熱されたストーブの上などにかかると着火することがありますので取り扱いには十分注意してください。
●循環液は3年を目安に入れかえてください。（開封した循環液も含む）
●循環液の凍結温度は、－20℃に調合されています。

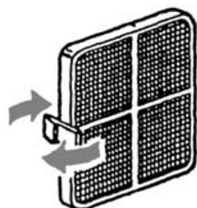
8.日常の点検・手入れ

■温水配管の点検・交換の目安（シーズンの初め、適時）（UHタイプ）

●ストーブ内部や温水配管接続部分から水漏れがないことを確認してください。
●パックチューブは経年変化しますので手で少し曲げ、ひび割れがないか点検し、ひび割れがあるときは交換してください。交換の目安は3年に1度です。
交換はお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

■ファンフィルタの掃除（適時）

●ファンフィルタがごみやほこりで目づまりすると燃焼不良の原因になります。
次のようにストーブ背面のファンフィルタの掃除を行ってください。

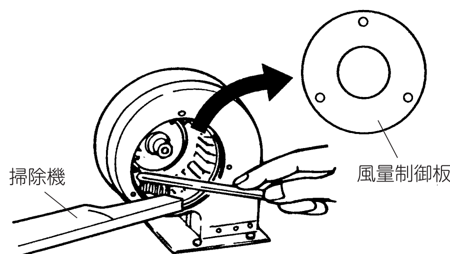


1. 左図の矢印のようにファンフィルタに力を加えながら引き出し、ストーブ背面から取り外してください。
2. ブラシなどでフィルタのほこりを取り除いてください。
3. 掃除が終わりましたら、もとどおりに取り付けてください。

■燃焼用送風機の掃除（年1回以上）

（お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。）

●燃焼用送風機ファンにごみやほこりがたまると送風力が弱くなり燃焼が悪くなったり、音が大きくなってくることがあります。
次のように燃焼用送風機ファンのほこりを取り除いてください。



1. ストーブ背面のファンカバーと風量制限板を外し、ブラシなどで静かにほこりを取り除いてください。
2. 掃除が終わりましたら、もとどおりに取り付けてください。

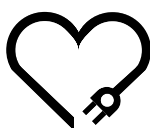
ご注意 燃焼用送風機ファンに付いたほこりを取り除くとき、燃焼用送風機ファンを変形させないでください。
燃焼用送風機ファンに力を加えると曲りや傾きを生じて、回転のときに音が出ることがありますので力を加えないようにしてください。

■地震などの災害が発生したときの点検について

●地震などの災害が発生し、ストーブに振動や衝撃が加わったときは、運転前に必ず次の点検をおこなってください。
・煙突の外れ、漏れの確認
・ストーブの損傷点検
・灯油配管からの漏れの確認
●点検で異常が見つかった場合は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

9.定期点検

長期間ご使用になりますと、ストーブの点検が必要です。
2シーズンに1回程度、シーズン終了後などに点検を実施してください。点検のご相談は、お買い求めの販売店またはお近くのコロナサービスセンターまたは修理資格者〔（財）日本石油燃焼機器保守協会（TEL03−3499−2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店までお問い合わせください。

愛情点検	長年ご使用の半密閉式石油ストーブの点検をぜひ!			ご使用中止
	こんな症状はありませんか	●油漏れがする。 ●強い臭いがする。 ●運転中に異常な音がする。 ●その他の異常や故障がある。	▶	故障や事故の防止のため必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。点検・修理についてのご費用など詳しいことはお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。

10.部品交換のしかた

■部品交換のときの注意

ご注意 不完全な修理、調整は危険ですので、部品の交換、調整が必要の場合には、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターもしくは修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。

部品交換はコロナ純正部品とご指定ください。

●コロナ純正でない部品を使用の場合には、本体の機能が損なわれたり、事故や故障の原因となります。保証期間内であっても本体の保証が受けられません。

消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

項　　目	内　　容
使用期間により交換が必要な部品	ポットバーナ・点火ヒータ・燃焼リング・スケルトン フレームロッド・点火ネット・ガラス円筒・各種パッキン
環境により劣化しやすい部品	プリント配線板・燃焼用送風機・ゴム製送油管
変質・不純灯油の使用により劣化しやすい部品	電磁ポンプ・定油面器・フレームロッド

11.保管（長期間使用しない場合）

シーズン終了時などの長期間使用しないときは、日常の点検・手入れの項（21～23ページ）を参照し、次の要領で保管してください。

1.電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

2.油タンクの送油バルブを閉じてください。

3.ファンフィルタの掃除をしてください。(23ページ参照)

4.定油面器内の灯油をすべて抜き取ってください。

●灯油の抜き取りはお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

5.本体のごみやほこりを取ってください。

●掃除機などでごみやほこりを取り除いてください。

6.本体をしめらせた布で汚れを落としてから、からぶきしてください。

7.ストーブは据付けたまま保管してください

●ストーブ内の循環液を抜いて保管する場合は、エアー抜きバルブを開いておき、エアー抜きバルブ配管内も乾燥させてください。(UHタイプ)
●床暖の配管を接続したままで保管する場合は、上限水位まで補給しておいてください。(UHタイプ)
●どうしても取り外して保管されるときは、ポリ袋をかぶせ、乾燥した場所に横倒しにしないようおしまいください。
●次シーズンに据付けるときには、必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

12.故障・異常の見分け方と処置方法

■次のような現象は故障ではありません。

●修理を依頼される前にもう一度お確かめください。

	現　　象	説　　明
点火時・消火時	初めて使用するときやシーズンの初めに煙やにおいがでる。	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。 しばらく窓をあけて換気をしてください。
	すぐに点火しない。	予熱点火方式のため予熱時間が2分程度必要です。 （予熱時間は室温により多少変化します。）
	燃焼開始時や消火後に「ピチピチ」や「カンカン」という音がする。	本体内部が熱により膨張、収縮するためです。
	点火時にポンと音がする。	点火するときに発生する着火音で、異常ではありません。
	燃焼開始時に黄色い炎（赤火）が混じる。	異常ではありません。

■使用中に異常があったら次表により原因を調べて処置をしてください。

●原因のわからないときや処置のむずかしいときはお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービス

※印部の現象・原因は UHタイプ のみ対象です。

原因 ＼ 現象	E1（途中消火）	E2（点火しない）	E3（対震作動）	E7（停電） E9（停電）	E8（疑似火災）	F1（熱交サーモ作動）※	炎が大きくならない	黒煙を出して燃える	ガラス円筒がすすける	音をたてて燃える
電源プラグをコンセントに差し込んでいない										
強い地震があった。または、ストーブに衝撃を与えた			●							
送油バルブが閉まっている	●	●								
定油面器の安全装置が作動している	●	●								
ゴム製送油管に空気だまりがある	●	●					●			
ゴム製送油管が折れていて、灯油が流れにくい	●	●					●			
定油面器に水、ごみが付いている	●	●					●			
煙突の設置が基準通りでない。煙突の横引きが長い								●	●	
燃焼用送風機のファンフィルタにほこりがたまった								●	●	
煙突の工事が不適当のため逆風現象がある	●							●	●	
燃焼リングが変形している								●	●	●
強風などにより、煙突の引きが極端に強い	●									●
油漏れがある										
フレームロッドにすすが多量に付着した	●				●					
循環ポンプが故障している ※						●				
シスターンの循環水が不足している ※						●				
温水配管がつぶれている。温水ジョイントのコックが閉じている ※						●				
長時間停電があった（30秒以上－Ｅ7表示）				●						
停電があった（１秒以上30秒未満－Ｅ9表示）				●						
微風ファンが故障している										

	現　　象	説　　明
燃焼時・その他	炎の一部が揺らぐ。青炎の中に黄色い炎（赤火）が混じる。	異常ではありません。
	煙突の先端から連続的に白煙が出る。	外気温が低くなると、排気ガス中に含まれている水分が凝結して水蒸気になるためで、異常燃焼による白煙ではありません。
	灯油ぎれの際に一瞬炎が大きくなって消火する。	異常ではありません。
	タイマー運転中に表示部の表示が暗い。	待機時の節電のためです。
	「カチカチ」音がする。	電磁ポンプの運転音で異常ではありません。
	ガラス円筒が白くなる。	灯油中の成分がガラス円筒に付着するためです。異常ではありません。
	ストーブ本体から水が蒸発する「ジュッ」という音がする	結露水が熱交換器内部で蒸発する為です。異常ではありません。

●次のような現象のときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じてお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。

現　　象	症　　状
点火時・燃焼時・消火時に「ボーン」という大きな音がした。	ストーブが損傷したりパッキンが飛散しているおそれがあります。
黒煙を出して燃えている。	燃焼が異常になっています。
置台に灯油が漏れている。	ゴム製送油管の締付バンドが締まっていない。

センターにご連絡ください。　★室内温度表示に自己診断モニタが表示されます。

灯油のにおいがする	爆発的な燃焼をする	電源が入らない	床暖パネルがあたたまらない ※	沸とう音がする ※	振動が大きい ※	微温風が出ない	処　置　方　法
		●					コンセントに確実に差し込む
							ストーブの周囲や煙突の接続部・煙突トップの外れ、油漏れなどの異常がないことを確認してから点火操作をする
							送油バルブを開く
							定油面器リセットレバーを左方向まで押す
							燃料切れの注意と空気抜きの方法（8ページ）を参照して空気抜きをする
							ゴム製送油管の折れを直す。
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							ファンフィルタのほこりをブラシなどで掃除する
	●						お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
●							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
							お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
			●	●	●		お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する
			●	●			規定水位まで補充液を入れる
			●	●	●		温水配管のつぶれを直す。温水ジョイントのコックを開く
							設定温度、時刻などをセットしてから点火操作をする
							リセットしてから再度点火操作をする
						●	お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに修理を依頼する

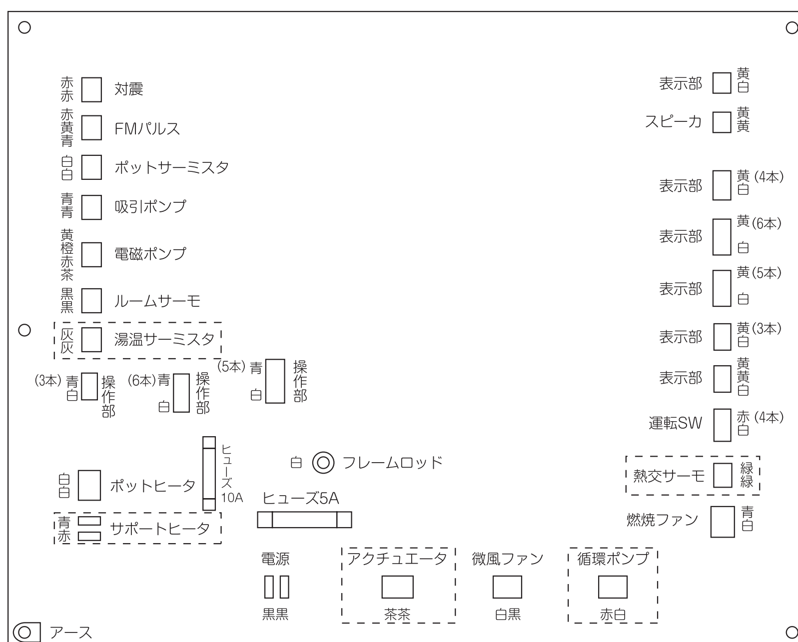
仕　様

注）※印は UHタイプ のみ対象です。

型式の呼び			UH-7712PK（基本型式 UH-7710PK）		SV-7012PK（基本型式 SV-7010PK）	
種類			ポット式・強制通気形・自然対流形・※床暖房用			
点火方式			電気点火式			
使用燃料			灯油（JIS 1 号灯油）			
燃焼状態			最大	最小	最大	最小
燃料消費量	床暖房運転		9.72kW（0.945L/h）	2.26kW（0.220L/h）		
燃料消費量	ストーブ単独運転		9.72kW（0.945L/h）	2.26kW（0.220L/h）	10.14kW（0.986L/h）	2.26kW（0.220L/h）
発熱量	床暖房運転		35,000kJ/h	8,150kJ/h		
発熱量	ストーブ単独運転		35,000kJ/h	8,150kJ/h	36,520kJ/h	8,150kJ/h
熱効率	床暖房運転		78.8%	81.9%		
熱効率	ストーブ単独運転		69.0%	67.0%	69.0%	67.0%
暖房出力	床暖房運転		7.66 kW 循環水量 150L/h（1回路時） 循環水量 180L/h（2回路時）（別売品使用）	1.86 kW 循環水量 100L/h（1回路時・2回路時）		
暖房出力	ストーブ単独運転		6.71kW	1.52kW	7.00kW	1.52kW
最大床暖房出力（床暖房運転）			最大燃焼時 2.09kW	循環水量 150L/h（1回路時） 循環水量 180L/h（2回路時）（別売品使用）		
サポートヒータ出力（サポートヒータ運転）			0.500kW　循環水量 100L/h			
標準適室	床暖房運転	温暖地	木造 33.0㎡（20畳）まで　コンクリート 44.5㎡（27畳）まで			
標準適室	床暖房運転	寒冷地	木造 33.0㎡（20畳）まで　コンクリート 53.0㎡（32畳）まで			
標準適室	ストーブ単独運転	温暖地	木造 28.0㎡（17畳）まで　コンクリート 39.5㎡（24畳）まで		木造 29.5㎡（18畳）まで　コンクリート 41.5㎡（25畳）まで	
標準適室	ストーブ単独運転	寒冷地	木造 29.5㎡（18畳）まで　コンクリート 46.0㎡（28畳）まで		木造 29.5㎡（18畳）まで　コンクリート 48.0㎡（29畳）まで	
本体水容量			2L（器具内蔵シスターン上限水位時）			
床暖房用熱交換器の最高使用圧力			シスターン大気開放			
外形寸法			高さ 615㎜　幅 748㎜　奥行 368㎜（置台を含む）			
質量			33kg		27kg	
電源電圧及び周波数			100V　50/60Hz			
定格消費電力	床暖房運転		点火時 360/360W・最大燃焼時 38/46W			
定格消費電力	ストーブ単独運転		点火時 340/340W・最大燃焼時 17/17W		点火時 340/340W・最大燃焼時 17/17W	
定格消費電力	サポートヒータ運転		最大運転時 625/625W			
待機時消費電力			1.4W		1.6W	
床パネルの接続面積	床暖房運転		4.5～19.5㎡（3畳～12畳）（最大燃焼時）			
床パネルの接続面積	サポートヒータ運転		4.5㎡（3畳）			
温水配管接続口			外径φ8㎜ニップル			
煙突の呼び径			φ106㎜（3寸5分）			
煙突の壁貫通部の孔径			φ110㎜			
標準ドラフト値（最大燃焼時）			−7.8Pa（−0.8mmH₂O）			
排気温度	床暖房運転		330℃以下			
排気温度	ストーブ単独運転		480℃以下		480℃以下	
電流ヒューズ			5A・10A			
安全装置			対震自動消火装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置			
その他の装置			再点火安全装置・過電流防止装置・燃焼用送風機異常検出装置 安全サーミスタ・※サポートヒータ過熱防止装置・※循環水過昇防止装置			
付属品			置台1個・※パックチューブ2.5m・※ホースバンド2個・本体固定金具2個（ねじ2個） 遮熱板1個・ゴム製送油管締付バンド2個・取扱説明書・※工事説明書			

備考）●微風ファン運転時の消費電力は定格消費電力に4W加算されます。
　　　●標準適室は、一般社団法人・日本ガス石油機器工業会の算定基準によります。

プリント配線板 端子配置図



注）印端子部はUHタイプのみ対象です。

14.アフターサービス

■保証について

●このコロナ半密閉式石油ストーブには保証書がついています。（裏表紙に印刷されています。）
保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
●保証期間はお買いあげ日から1年間です。
●次のような原因による故障および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。
・変質灯油や不純灯油などの不良灯油、また灯油以外の燃料使用による故障や事故。
・誤った使用方法による故障や事故。
・シリコーンが原因の修理、シリコーン配合の商品を使用したとき。

■修理を依頼されるとき

●「故障・異常の見分け方と処置方法」（25～26ページ）の項に従ってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。
●ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
① 品名　② 型式の呼び　③ お買いあげ日　④ 故障状況（できるだけ具体的に）　⑤ ご住所・ご氏名・お電話番号
・品名、型式の呼びは取扱説明書（保証書）をごらんください。
●修理に際しては、保証書をご提示ください。保証期間中であれば保証書の規定に従って無料修理させていただきます。
●ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにお問い合わせください。

■保証期間が過ぎているときは

●お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間

●石油ストーブの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後7年です。

据付け・移設工事は販売店に依頼する

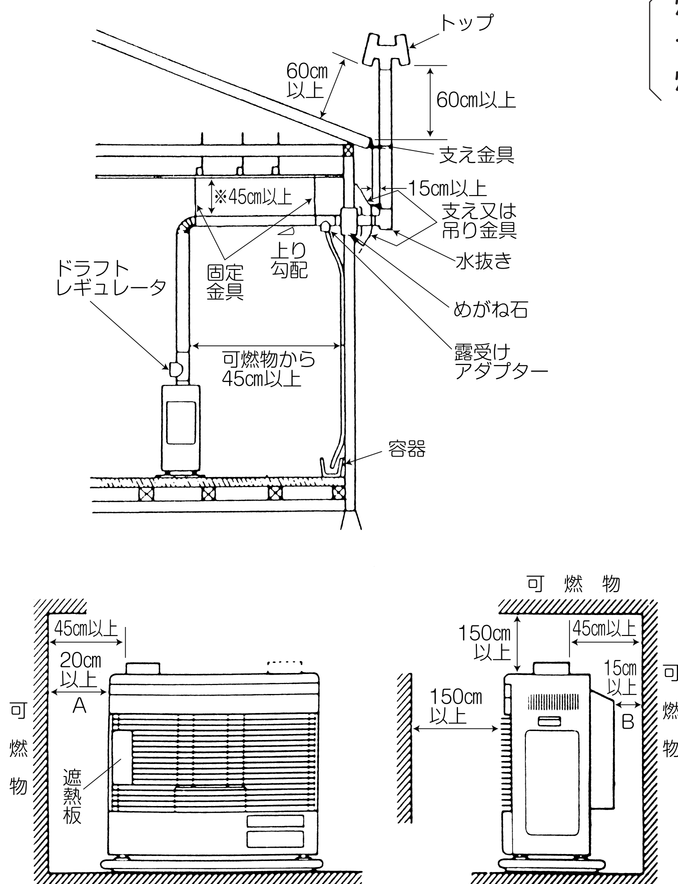
据付けや移設工事は販売店または、据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。取扱説明書（工事編）の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

■標準据付け例

ストーブの据付けは下図を満足させる位置に取り付けてください。



煙突の先端から水平距離１m以内に建物の軒がある場合は、その軒から60cm以上高くすること。
煙突の先端から1m以内に建物の開口部（窓）がないこと。

- ●※印寸法は、煙突が本体から1.8mを超える場合は15cm以上。
- ●煙突は、固定金具で1.5～2m間隔に固定すること。
- ●設置の場合は当該地区の火災予防条例にしたがってください。
- ●風の強い地域では、必ずドラフトレギュレータを取り付けてください。
- ●結露水が出る場合には、露受けアダプターを取り付け排出した結露水は、容器に受けてください。
  結露予防のため、煙突の横引き長さはできるかぎり短く、2m以内にしてください。

※左図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物などの場合も左図離隔距離をとってください。

（備考）
1. Ａ・Ｂ寸法は、20cm以上、15cm以上と示していますが、煙突と可燃物との距離（45cm以上）でも規制されます。
   可燃物との距離が長くなるように設置してください。
2. 遮熱板を取り付けない場合は、側面との距離を30cm以上離してください。

●テレビやラジオから1m以上離してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、取扱説明書（工事編）の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、取扱説明書（工事編）に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。

試運転

試運転は販売店または据付業者とご一緒に必ず行ってください。

■運転準備

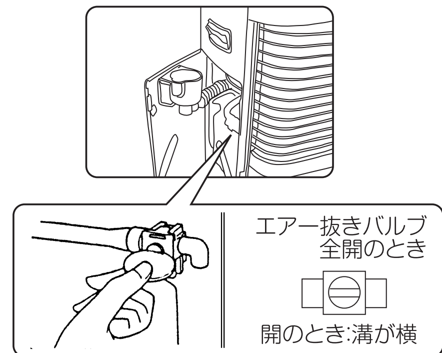
⚠注意 **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。**

●油タンクに給油し、送油経路の空気抜きをしてください。(8ページ)
●送油経路やストーブより油漏れがないか確認してください。
●配管途中にバルブなどがある場合には、全開にしてください。
●定油面器をセットしてください。(9ページ)

●シスターンタンク内に循環液がないときは、循環ポンプを運転させないでください。故障の原因になります。

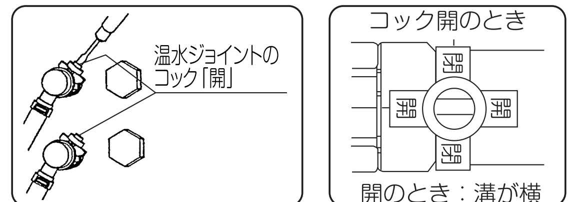
■循環液の給水方法 (UHタイプ)

1. 給水前にエアー抜きバルブが全開になっていることを確認してください。
(工場出荷時には全開になっています。)

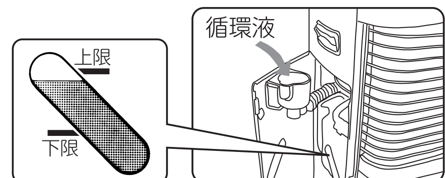


2. 両方の温水ジョイントのコックを「開」にしてください。

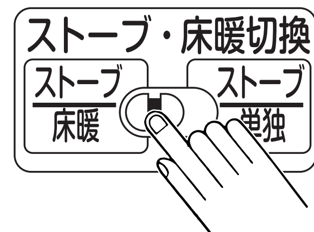
●配管途中にバルブがある場合は、バルブを全開にしてください。
●水漏れがあった場合は、循環ポンプを停止させてください。床暖切換スイッチを「ストーブ単独」に切り換えることにより停止させることができます。



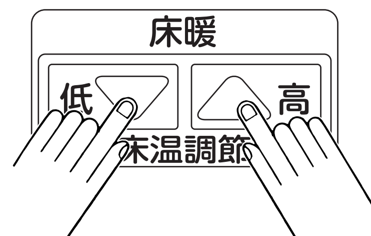
3. シスターンタンクの規定水位まで循環液を入れてください。



4. 操作部の床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」に合わせてください。



5. 操作部の床温調節ボタン「高」「低」を同時に5秒間押し続けてください。
●循環ポンプが運転を開始します。
●表示部の設定床温表示が点滅します。

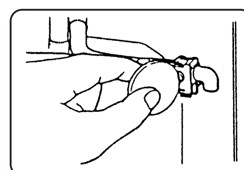


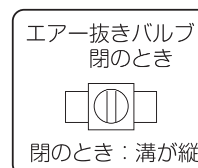
6. シスターンタンクの水位が下がるので規定水位まで循環液を給水してください。
(シスターンタンクの水位が下がらなくなるまで給水を続けてください。)

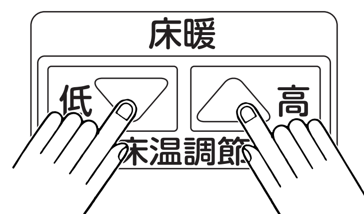
7. シスターンタンクの水位が下がらなくなったらエアー抜きバルブを必ず「閉」にしてください。

8. 温水配管路に水漏れのないことを確認してください。

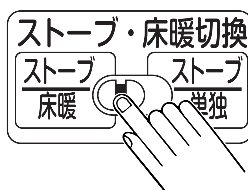
9. 水漏れのないことを確認したら給水は完了です。操作部の床温調節ボタン「高」「低」を同時に押してください。循環ポンプが停止します。
表示部の設定床温表示が消灯します。

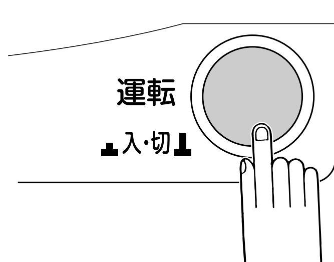


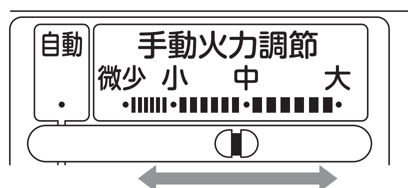




■運転 ※印は UHタイプ のみ対象です。







※ 1. 床暖切換スイッチを「ストーブ床暖」にセットしてください。

2. 運転スイッチを押して「入」にしてください。
●約3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります。

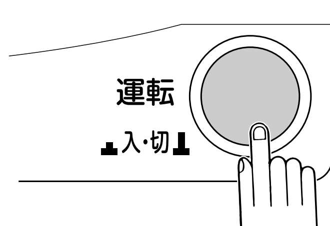
※ 3. 温水配管経路に水漏れのないことを確認してください。

※ ●運転の途中で温水配管経路に水漏れがあった場合
①操作部の床暖切換スイッチを「ストーブ単独」に切り換えて循環ポンプを停止させてください。
②運転スイッチを押して「切」にしてストーブの運転を停止してください。

4. 異常がなければ、火力調節つまみを「微少」～「大」に設定してください。
●燃焼中の炎に黄色い炎（赤）火が混じったり、かたよったり、上下変動することがありますが、異常ではありません。

※ 5. 床暖パネルが暖かくなることを確認してください。
●正常運転の目安として「故障・異常の見分け方と処置方法」（25～26ページ）のような現象のないことを確認してください。

■消火の手順 ※印は UHタイプ のみ対象です。



●運転スイッチを押して「切」にしてください。
「消火します」の音声と同時に「運転中」表示が消え、消火します。燃焼室が冷却すると約10分後に燃焼用送風機、※循環ポンプが停止します。

お願い

●長期間の保管後、再び設置する場合も「試運転」の手順に従い、試運転を行ってください。

⚠注意 初めてお使いになるときの注意

初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙と臭いが出ます。しばらくの間、窓をあけて部屋の換気を行ってください。また、小鳥や小動物などに影響する場合が考えられますので、この間は部屋に入れないでください。

●お部屋の窓を少し開け、半日から１日程度「大火力」運転をしてください。

■工事編

1.特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

この工事説明書には、安全に正しく据付けていただくために、いろいろな絵表示が記載されています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みになり据付工事を行ってください。



この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が、死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⚠記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



❗記号は行為を指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

⚠警告

●据付けや移設は、販売店または据付業者が行ってください。

お客様ご自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。

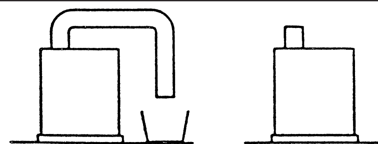


●据付けは火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準を守って行ってください。



●屋内排気禁止

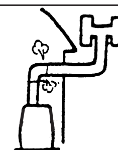
屋内に排気すると、排ガスが室内に充満して危険です。
必ず屋外に排気してください。





●煙突を確実に接続

煙突を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。





⚠注意

●次の場所には据付けない　火災や予想しない事故の原因になります

・水平でない場所、不安定な場所
・不安定な物をのせた棚などの下
・可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
・燃焼に必要な空気を取り入れる空気取入口のない場所または換気の行えない場所
・付近に燃えやすいものがある場所
・階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
・マントルピース内
・温室、飼育室など人のいない場所

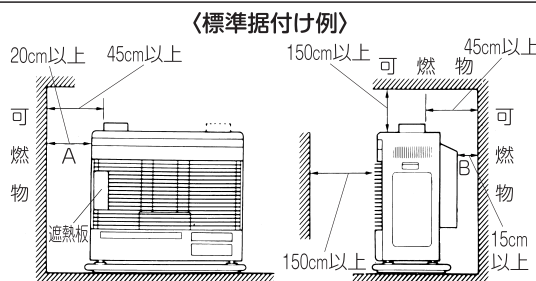


●可燃物との距離を離す

・ストーブ及び煙突から周囲の可燃物までの離隔距離は火災予防条例で規定されています。図のようにしてください。また可燃物側には必ず前面ガードに遮断板を取り付けてください。
・ストーブは付属の置台の上に据付けてください。

〈標準据付け例〉

（備考）
1．A・B寸法は、20cm以上、15cm以上と示していますが、煙突と可燃物との距離（45cm以上）でも規制されます。保守･点検も考慮し、可燃物との距離が長くなるように設置してください。
2．遮熱板を取り付けない場合は、側面との距離を30cm以上離してください。



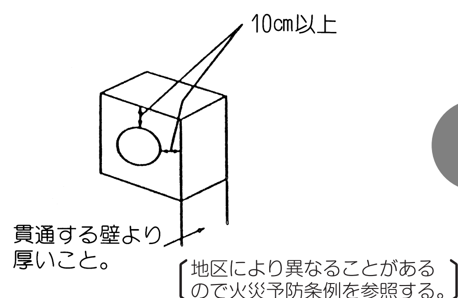
※不燃物の場合でも性能維持のため上図離隔距離をとってください。



⚠注意

●家屋貫通部の注意

・煙突が可燃性の壁などを貫通する部分は必ずめがね石を使用してください。
・小屋裏、天井裏などにある部分は金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆を行ってください。
・可燃性の壁・天井・小屋裏・天井裏などを貫通する部分及びその付近では煙突の接続はしないでください。





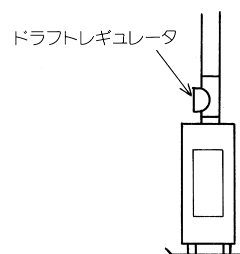
●煙突の固定

・煙突は、風や振動などで倒れないよう支え金具や支え線などで固定してください。
・煙突は、1.5～2mおきに固定金具で固定し、自重を支える部分は支えまたは吊り金具で堅固に支持してください。



●ドラフトレギュレータの取り付け

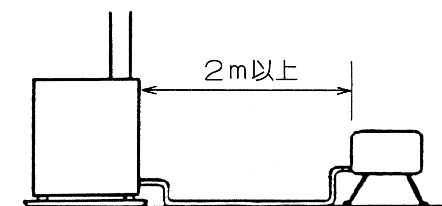
煙突の引き（ドラフト）が強いと燃焼不良が発生します。
次の煙突設置の場合は必ずダブルドラフトレギュレータ（別売品DR-1）を取り付けてください。
・集合煙突に接続する場合・標準寸法以上に立ち上がりが高い場合
・風が強くて炎が沈むような場合





●油タンクとの距離を離す

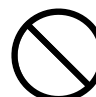
・油タンクはストーブより2m以上離して据付けるか防火上有効な遮へいを設けてください。
・据置式のタンクは、不燃材の床上に据付けてください。





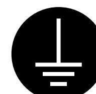
●ゴム製送油管の屋外使用禁止

ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。
ひび割れを生じて油漏れの原因になります。



●アース工事をすること (UHタイプ)

アース工事を確実に行ってください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

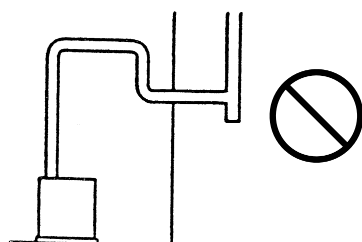


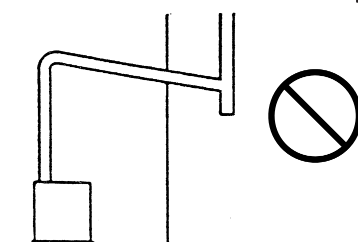
●煙突の点検

据付けが終わったら、もう一度点検してください。
次のような取付けは、危険であったり、不完全燃焼をおこすおそれがあるので、必ず修正してください。

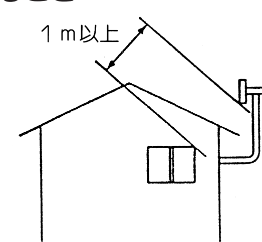


・下り勾配、下向き曲がり禁止





・トップと建物の開口部は１ｍ以上離れていること

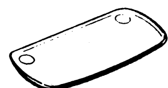


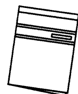


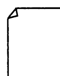
2.開こん

1. ダンボール箱からストーブを取り出し、パッキン材・テープ・ちらし類などを取り除いてください。
2. 梱包箱には、次の付属品が入っていますので確認してください。

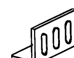
部　品　名	個数	用　　途
置　台	1	ストーブの下に敷く
本体固定金具(ねじ2個)	2	ストーブと置台の固定
ゴム製送油管締付バンド	2	ゴム製送油管接続部の締付け
遮　熱　板	1	ストーブから側面可燃物までの離隔距離が短い場合、前面ガードに取り付ける
取　扱　説　明　書	1	お客様用ストーブ取り扱いの説明書
工　事　説　明　書	1	ストーブと床暖パネル設置工事説明書 (UHタイプ)
パックチューブ・ホースバンド(2個)	1	床暖パネル接続用 (UHタイプ)


置台
1個


取扱説明書
1冊

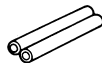

工事説明書
1枚
(UHタイプ)


遮熱板
1個


本体固定金具
2個


ねじ
2本


ゴム製送油管
締付バンド
2個


パックチューブ
(2.5m)‥‥1本
(UHタイプ)


ホースバンド 2個
(UHタイプ)

3.据付け

据付け場所の選定

据付けについては火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。32〜33ページの「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、32ページ、また、「煙突の取り付け」については36〜37ページを参照してください。

■性能維持のための空間

ストーブは燃焼用空気が必要です。火災予防または性能維持のためにもあまり狭い場所で使用せず、換気しやすい場所で使用してください。

■電気コンセントの位置

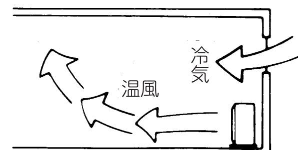
歩行者が電源コードを引っかけない位置にある専用コンセント（AC100V）をご使用ください。
(電源コードの長さは約 2mです)
電源コードが煙突などの高温部にふれない位置を選定してください。

■標高は1000mを超える高地では使用しないでください。

空気の濃度が薄いため、燃焼に必要な空気が不足します。

■効果的に使用するために

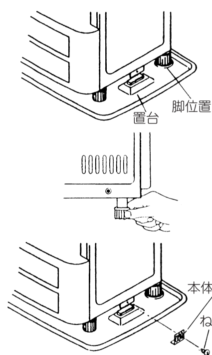
冷気の入ってくる方向、例えば窓側などに置くと、冷気がストーブで温められ温風として対流しますので、効果的です。



据付け方法

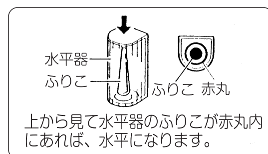
■置台の取付けと水平調節

ストーブの下には必ず置台を使用し、ストーブを水平に据付けて、必ず置台と固定してください。



1．ストーブの後側の調節脚が置台の脚位置（2カ所）に、一致するように設置してください。

2．水平器を真上から見ながら4個の調節脚を調節して、ストーブを水平に据付けてください。



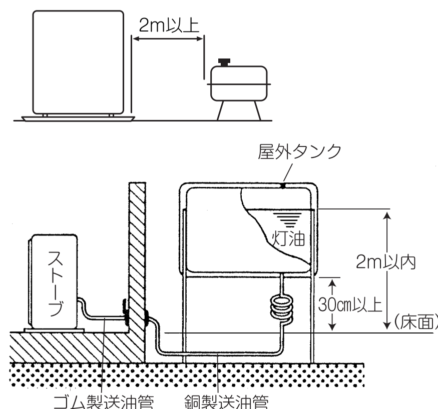
3．本体固定金具をストーブの側面から、置台の引っかけ部に差し込み、付属のねじでストーブに固定してください。固定は、両側面2カ所です。

■ルームサーモ

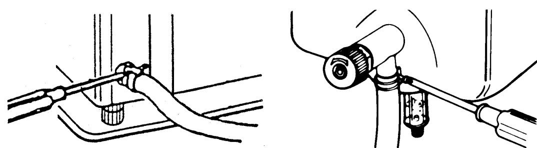
●ルームサーモはストーブの背面に固定されています。設置場所および煙突の設置によっては、ルームサーモが室温を正しく感知できないことがあります。
このような場合は、延長ルームサーモ（別売品RTH-2P）をご使用ください。

■油タンクの組立てと据付け（別売品）

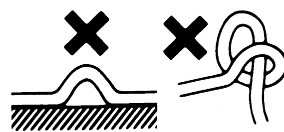
●組立ては、油タンク付属の取扱説明書に従って行ってください。
●油タンク油面はストーブ本体設置床面より高さを30㎝から2m以内で設置してください。
●油タンクとストーブとの送油管の間に必ずごみを除くためのオイルフィルタを取り付けてください。送油経路にごみがたまると、灯油の流れを妨げて十分な火力が出なくなります。
●油タンクの据付けは、各地の火災予防条例に従ってください。
●油タンクは、ストーブとの間に防火上有効な壁などがない場合は、2m以上離してください。火災の原因になります。
●油タンクは、油タンク内の油面がストーブ設置床面より2m以上高くなるところには据付けないでください。
油が定油面器よりあふれ出ることがあります。
●油タンクは熱・振動・衝撃の少ない場所に据付けてください。



■ゴム製送油管の取り付け方



●ゴム製送油管にゴム製送油管締付バンドをはめてから、油タンクとストーブのゴム管口に十分押しこみ、ゴム製送油管締付バンドで強く締め付けてください。



●ゴム製送油管の途中が山形になったり、もつれたりしていますと、空気がたまって灯油が流れないことがあります。
平らになるように直してください。

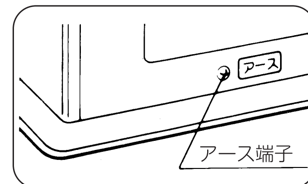
⚠注意 ゴム製送油管を屋外では使用しないでください。
●ゴム製送油管は、JIS-S3022「石油燃焼機器用ゴム製送油管」に合格したもの以外は使用しないでください。
●ゴム製送油管は、きつく曲げたり、丸めたりしないようにしてください。
●紫外線が当たると劣化が早くなります。日光が当たらないようにしてください。
●ゴム製送油管の上に物をのせたり、重量物がのったりしないようにしてください。灯油の補給が妨げられます。

■金属配管(銅製送油管)施工の場合の注意

●定油面器へのごみの侵入を防ぐため、配管工事終了後、ストーブと接続する前には必ず配管内に灯油を流して切粉・ごみなどを取り除いてください。定油面器から油があふれたり、電磁ポンプが故障する原因になります。

■接地（アース） UHタイプ

●ストーブの背面下部にあるアース端子を使用してください。
接地工事はD種接地工事をおこなってください。



■床暖パネルを敷設しないとき UHタイプ

●床暖切換スイッチは必ず「ストーブ単独」にセットして使用してください。

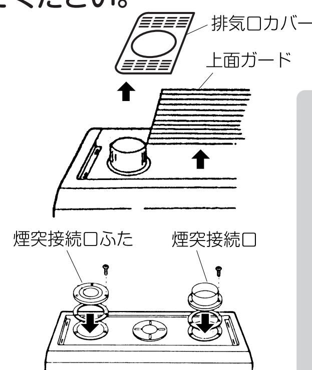
■電気配線

●テレビやラジオから1m以上離してください。
●電源プラグは、必ず適正配線された単相100Vのコンセントに差し込んでください。

■煙突の左右を変更する場合

煙突の左右を変更する場合は、次のようにおこなってください。

1．上面ガード・排気口カバーを外してください。
2．煙突接続口を固定している3本のねじを外し、中のパッキンを損傷しないように煙突接続口を外してください。
3．煙突接続口ふたを固定している3本のねじを外し、中のパッキンを損傷しないように煙突接続口ふたを外してください。
4．組込みは逆の要領で組み換えてください。



煙突接続口、パッキンおよび煙突接続口ふたは取り付けの方向性があります。取り付け用のねじの位置を確かめて取り付けてください。

4.煙突の取付け

■煙突の径

●煙突は直径106mm（3寸5分）を使用してください。
●さびやすい素材の煙突は、腐食やさびにより煙突がふさがれたりしますので、使用しないでください。

■横引き、立ち上がりの標準寸法

●煙突の立ち上がり、横引きの標準寸法は、立ち上がり約3.6m（4本）、横引き約1.8m（2本）です。
横引きが標準寸法より長くなる場合は、その長さの1／2を立ち上がりに追加してください。
（結露予防のため、煙突の横引き長さはできるかぎり短く、2m以内にしてください。）
●屋外の立ち上がり部の下端には、水抜きをつけて雨水が入るのを防いでください。
●横引きは10分の１以上の上り勾配になるようにしてください。
●横引きはできるだけ短くし、ベンド（エビ曲）は3個以下になるようにしてください。また、露受けアダプター（別売品）などの取り付けもご検討ください。工事店とよくご相談ください。
●１本の煙突を他のストーブなどと共用することは避けてください。燃焼が悪くなります。

■煙突先端(トップ)の位置

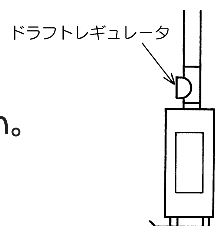
●煙突トップは、屋根面から垂直距離60cm以上離してください。
●煙突トップから水平距離1m以内に隣接家屋などの軒があるときは、さらにそれより、60cm以上離してください。
●窓などの開口部からは１m以上離してください。
●煙突トップの位置は建物・立木などの状態をみて、あらゆる方向の風が通り抜ける位置にしてください。



■トップの形状

●煙突トップには、逆風防止のための「傾斜H型トップ」を取り付けてください。

■ドラフトレギュレータ（別売品）の取付け



⚠注意 煙突の引き（ドラフト）が強いと燃焼不良が発生します。

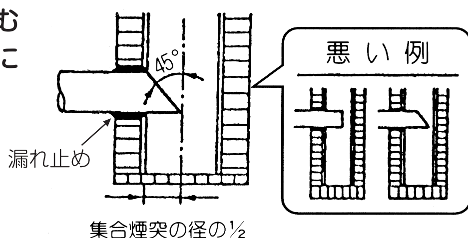
次の煙突設置の場合は必ず、ダブルドラフトレギュレータ（別売品DR-１）を取り付けてください。

●集合煙突に接続する場合　●標準寸法以上に立ち上がりが高い場合

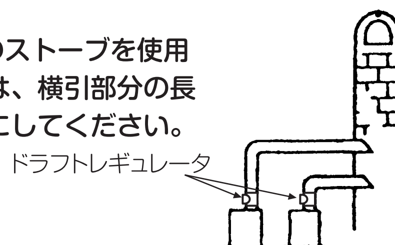
●風が強くて炎が沈むような場合

■集合煙突を利用する場合のご注意

●集合煙突に差し込む先端は右図のようにしてください。



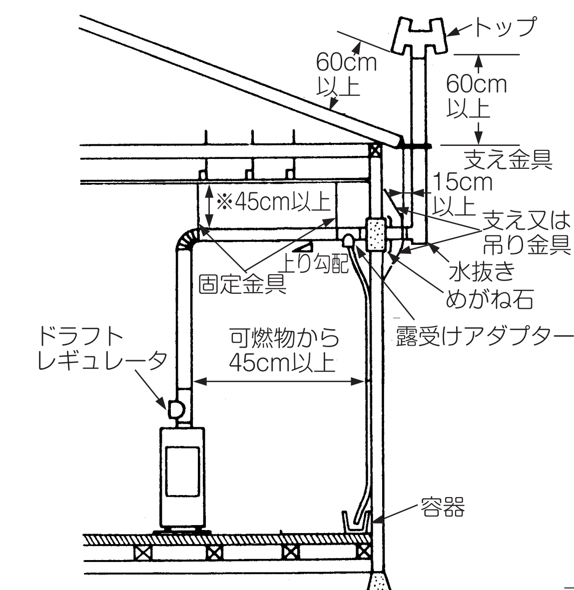
●2つ以上のストーブを使用するときは、横引部分の長い方を上にしてください。



●集合煙突を利用する場合は、設置方法などについて必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。

■煙突の取り付け図

煙突の取り付け図



〔煙突の先端から水平距離１m以内に建物の軒がある場合は、その軒から60cm以上高くすること。煙突の先端から１m以内に建物の開口部（窓）がないこと。〕

●※印寸法は、煙突が本体から1.8mを超える場合は15cm以上。

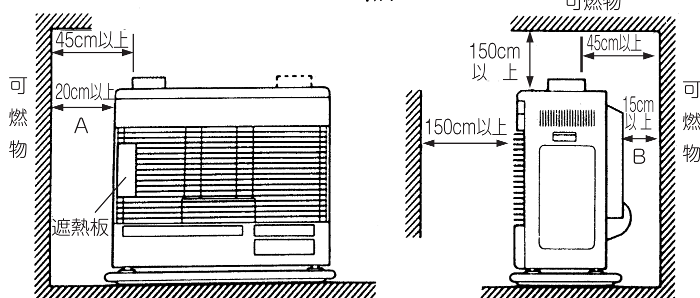
●煙突は、固定金具で1.5～2m間隔に固定すること。

●設置の場所は当該地区の火災予防条例にしたがってください。

●風の強い地域では、必ずドラフトレギュレータを取り付けてください。

●結露水が出る場合には、露受けアダプターを取り付け排出した結露水は、容器に受けてください。

〔結露予防のため、煙突の横引き長さはできるかぎり短く、2m以内にしてください。〕



（備考）

1.A・B寸法は、20cm以上、15cm以上と示していますが、煙突と可燃物との距離（45cm以上）でも規制されます。可燃物との距離が長くなるように設置してください。

2.遮熱板を取り付けない場合は、側面との距離を30cm以上離してください。

※左図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物などの場合も左図離隔距離をとってください。

■結露水の処理

●煙突の横引き部に結露水が出る場合は、別売の露受けアダプター（USB-1）また、集合煙突の凍結予防には集合煙突凍結防止ヒータ（USB-3）をご使用ください。お買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターにご相談ください。

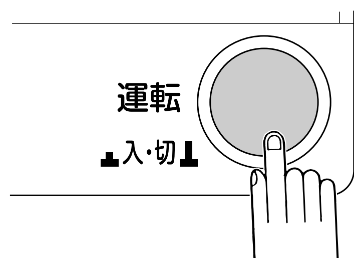
5.試運転

試運転は使用者とご一緒に必ず行ってください。

■運転準備

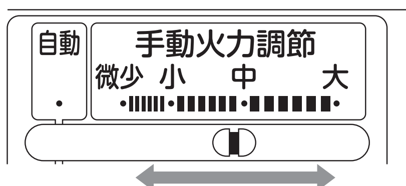
- ⚠注意 **電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。**
- 油タンクに給油し、送油経路の空気抜きをしてください。（9ページ）
- 送油経路やストーブより油漏れがないか確認してください。
- 定油面器をセットしてください。（9ページ）

■運転



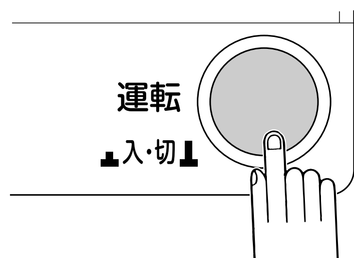
1. 運転スイッチを押して「入」にしてください。

●3～4分間の予備燃焼が終わると本燃焼になります



2. 異常がなければ、火力調節つまみを「微少」～「大」に設定してください。
●正常運転の目安として「故障・異常の見分け方と処置方法」（25～26ページ）のような現象のないことを確認してください。

■消火の手順



1. 運転スイッチを押して「切」にしてください。
●「消火します」の音声と同時に「運転中」表示が消え、消火します。
●燃焼室が冷却すると約10分後に燃焼用送風機が停止し、時刻表示以外のすべてのランプが消灯します。

お願い

●長期間の保管後、再び設置する場合も「試運転」の手順に従い、試運転を行ってください。

⚠注意 **初めてお使いになるときの注意**

初めてお使いになるときは、耐熱塗料などが焼き付くまで煙と臭いが出ます。しばらくの間、窓をあけて部屋の換気を行ってください。また、小鳥や小動物などに影響する場合が考えられますので、この間は部屋に入れないでください。

●お部屋の窓を少し開け、半日から１日程度「大火力」運転をしてください。

6.廃棄するときの注意

●ストーブを廃棄処分するときは、定油面器の灯油を抜き取ってください。
灯油が入ったまま廃棄するとリサイクルの際に思わぬ事故になるおそれがあります。
必ずお買い求めの販売店または、お近くのコロナサービスセンターに依頼してください。

MEMO

MEMO

MEMO

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。
名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター
0120-919-302
（修理受付専用ダイヤル）
携帯電話・PHS等からは最寄のサービスセンターへ直接おかけください。
FAX 0120-919-322
受付時間　午前9時～午後7時(日曜、祝祭日は除く)

北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864－0440(代表)	FAX(011)863－3154
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8261	TEL(0166)37－2330(代表)	FAX(0166)37－2338
	北見営業所	北見市卸町1丁目1-3	〒090-0056	TEL(0157)36－9009(代表)	FAX(0157)36－5959
	釧路営業所	釧路市花園町4-17	〒085-0038	TEL(0154)24－4191(代表)	FAX(0154)24－0451
	帯広営業所	帯広市西18条北1丁目17-1	〒080-0048	TEL(0155)35－7518(代表)	FAX(0155)35－7510
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48－6070(代表)	FAX(0138)48－6080
	北海道地区 サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0873	TEL(011)879－2121(代表)	FAX(011)871－2400
北東北地区	青森支店	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)742－8255(代表)	FAX(017)742－8275
	青森地区 サービスセンター	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)743－2971(代表)	FAX(017)743－1118
	八戸営業所	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)24－5289(代表)	FAX(0178)45－4290
	八戸地区 サービスセンター	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)47－6609(代表)	FAX(0178)71－1344
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28－3910(代表)	FAX(0172)28－0191
	弘前地区 サービスセンター	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)26－4770(代表)	FAX(0172)29－1133
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622－4791(代表)	FAX(019)622－5244
	水沢営業所	奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22－4155(代表)	FAX(0197)22－4452
	盛岡地区 サービスセンター	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604－0281(代表)	FAX(019)604－0283
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864－5671(代表)	FAX(018)864－8468
	秋田地区 サービスセンター	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864－5219(代表)	FAX(018)864－5760
南東北地区	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235－3181(代表)	FAX(022)236－8810
	山形営業所	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)642－3255(代表)	FAX(023)642－3254
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31－0571(代表)	FAX(0234)31－0581
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938－2240(代表)	FAX(024)938－3021
	南東北地区 サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783－1791(代表)	FAX(022)783－1792
関東地区	北関東支店	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651－1722(代表)	FAX(048)651－6370
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241－2172(代表)	FAX(029)241－4268
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(029)839－5325(代表)	FAX(029)836－1913
	宇都宮営業所	宇都宮市築瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632－5105(代表)	FAX(028)632－5205
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38－6571(代表)	FAX(0276)38－5508
	高崎営業所	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361－4806(代表)	FAX(027)361－9139
	首都圏支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927－1151(代表)	FAX(03)3927－1160
	立川営業所	立川市高松町1-22-3	〒190-0011	TEL(042)519－5271(代表)	FAX(042)528－2382
	千葉営業所	松戸市高塚新田95-5	〒270-2222	TEL(047)312－8330(代表)	FAX(047)312－8338
	横浜営業所	横浜市戸塚区原宿4丁目7-13	〒245-0063	TEL(045)852－4008(代表)	FAX(045)852－5540
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268－1567(代表)	FAX(055)268－1569
	関東地区 サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911－1131(代表)	FAX(03)3927－1130
信越地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32－2126(代表)	FAX(0256)35－8519
	新潟東営業所	新潟市東区江南1-6-41	〒950-0855	TEL(025)286－9131(代表)	FAX(025)286－3313
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381-0022	TEL(026)221－5111(代表)	FAX(026)221－0039
	松本営業所	松本市笹賀大久保原7852	〒399-0033	TEL(0263)26－0051(代表)	FAX(0263)25－9961
	信越地区 サービスセンター	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32－2129(代表)	FAX(0256)32－2137
北陸地区	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260－0567(代表)	FAX(076)260－0775
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444－0567(代表)	FAX(076)444－0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23－0567(代表)	FAX(0776)23－0580
	北陸地区 サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260－0038(代表)	FAX(076)260－0738
東海地区	名古屋支店	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746－6600(代表)	FAX(052)884－6551
	岐阜営業所	岐阜市六条南2-7-8	〒500-8358	TEL(058)268－7555(代表)	FAX(058)268－7550
	静岡営業所	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238－0005(代表)	FAX(054)238－0006
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(055)968－6210(代表)	FAX(055)968－6212
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234－8471(代表)	FAX(059)234－8472
	東海地区 サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746－6603(代表)	FAX(052)884－6554
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380－2111(代表)	FAX(06)6386－7262
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24－6239(代表)	FAX(0749)26－2116
	京都営業所	京都市伏見区竹田段川原町211	〒612-8414	TEL(075)643－2002(代表)	FAX(075)643－0870
	福知山営業所	福知山市荒河東町68	〒620-0061	TEL(0773)22－0827(代表)	FAX(0773)23－7592
	神戸営業所	神戸市西区枝吉5-132	〒651-2133	TEL(078)922－2431(代表)	FAX(078)922－2438
	高松営業所	高松市今里町1-8-5	〒760-0078	TEL(087)835－1711(代表)	FAX(087)835－0160
	松山営業所	松山市西垣生町780-3	〒791-8044	TEL(089)968－7351(代表)	FAX(089)968－7353
	近畿・四国地区 サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386－5670(代表)	FAX(06)6386－5588
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871－3310(代表)	FAX(082)871－3306
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33－8157(代表)	FAX(0859)23－0709
	岡山営業所	岡山市北区辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243－7751(代表)	FAX(086)243－7191
	徳山営業所	周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22－5567(代表)	FAX(0834)22－5589
	中国地区 サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871－3315(代表)	FAX(082)871－0272
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474－5771(代表)	FAX(092)474－5775
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0828	TEL(093)592－8611(代表)	FAX(093)592－8666
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882－7710(代表)	FAX(095)882－7767
	熊本営業所	熊本市東区尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367－7361(代表)	FAX(096)369－6323
	大分営業所	大分市三佐1-19-7	〒870-0108	TEL(097)523－5161(代表)	FAX(097)523－5162
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29－1680(代表)	FAX(0985)25－0685
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281－1321(代表)	FAX(099)281－1252
	九州地区 サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474－6001(代表)	FAX(092)474－6414
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897－5677(代表)	FAX(098)897－5679

08032102

株式会社 コロナ
〒955－8510　新潟県三条市東新保7－7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　http://www.corona.co.jp/

コロナ　石油ストーブ保証書

型式	ご購入機種に○を付けてください。	
	SV-7012PK	UH-7712PK
★お客様	お名前　　　　　　　　　　　　　　様	
	ご住所 〒(　　　－　　　)	
	電話（　　　）　　－	

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号をご記入の上（★印欄に記入のない場合は、無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日		年　　月　　日
保証期間	対象部分	本　体
	期　間（お買いあげ日より）	1　年

見本

★販売店	住所・店名 電話（　　　）　　－

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
3．ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
4．ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にお問合せください。
5．次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
(イ)使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買いあげ後の取付場所の移動、輸送、落下等による故障および損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害および、変質灯油、不純灯油、異質油（灯油以外の油又は混入）、シリコーン配合商品が原因による故障および損傷
(ニ)業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
(ホ)本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合。
(ヘ)本書の提示がない場合
(ト)点検整備、および消耗品（Oリング、各種パッキン類、ゴム製送油管）の交換をされる場合
(チ) 定期点検の費用
6．本書は日本国内においてのみ有効です。This guarantee is valid in Japan only.
7．本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問合せください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書（本書28ページに記載）をご覧ください。
※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口（本書42ページに記載）にお問い合わせください。

207WA0386- 0 1 2 3 Ⓙ 24

株式会社コロナ
〒955−8510 新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ http://www.corona.co.jp/